



八代中学



八代高女



八代高校

八高同窓会会報 第13号

道

1919

1953

1979

2011

新連載!

八高家族の物語

【第1話】阿部淳子さんご一家

Contents

- 八高家族の物語
- 対談 同窓会長・八高校長
- 各支部・地区活動紹介
- 学年活動紹介
- 特集
- 頑張ってます
- 母校だより
- 大学生紹介
- 八高生紹介

- 随想シリーズ
- 会計報告
- 次回総会のご案内など
- 写真でたどる八高史

令和3年11月15日発行

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国の地区同窓会や全体同窓会の総会が開催できない状況が続いています。

昨年同様会報を特別版としてお届けいたします。

熊本県立八代高等学校同窓会

「八高家族の物語」 第二話…4代続く八高家族

創立125年という伝統ある母校八高は、親子で、或いは夫婦で、そしてそれが幾世代にもわたって八高卒という家族が多いのも特徴です。
今回は、4世代6人八高卒という阿部淳子様ご家族に、各世代の時代背景や学園生活、そして八高との絆などの話をお伺いしました。

西岡 定次様

大正8年卒(中18回) 父上 (故)

西岡 茂樹様

昭和28年卒(高5回) 兄上 (故)

阿部 淳子様

昭和28年卒(高5回) ご本人(座談会参加)

阿部 隆徳様

昭和29年卒(高6回) 夫君 (故)

阿部 和裕様

昭和54年卒(高31回) 息子 (座談会参加)

阿部 泰希様

平成23年卒(高63回) 孫 (メールにて)

*まずは年代順に、学生時代を中心に若い頃のお話をお聞きました
と思います。

八代中卒の定次さん

淳子さん…父は紺屋町の酒屋の出でしたが、当時紺屋町は花街ということで、八代中に

通うことができず、小学校の先生の家に下宿して学校へ通い、夏休みだけ自宅には帰る生活だったそうです。その後、役人になり、朝鮮、台湾と移り住み、最終的に八代に落ち着き税理士になりました。子煩悩な父でした。



定次さん (左)

男女共学になって初めての学年だった淳子さん

淳子さん…スポーツに学業に頑張りました。中学校の時ソフトボール部で真つ黒だったため、母に「そんなに黒いと嫁のもらい手がないから、屋内のスポーツにしろ」と言われ、高校では卓球部に入り、城南大



淳子さん

会ではチーム優勝しました。マラソン大会でも、舗装もされていない砂利道を裸足で走って優勝しました。中学卒業の時、同年だった兄と一緒に「優秀賞」をもらうという、学校始まって以来の快挙を成し遂げました。ただ、高校に入学した時、父に同年の兄を大学へやらないといけなかったので、「あなたはここまで」と言われました。私も大学に行きたかったので、同級生が大学へ行くのを見るのは嫌でした。
当時女性だけのクラスが3つありました。普通クラスは7つあり、私のクラスは女子が7人でした。同級生で結婚した人が何人もいますよ。よく下駄箱にラブレターが入っていましたね。



淳子さんとお兄さん

隆徳さんの思い出



隆徳さん

淳子さん…主人も八高卒ですが、1つ下で、出会いは卒業後です。恋愛結婚でした。62

歳で突然亡くなった為、立ち直るのに時間がかかりましたが、亡くなった者の分まで生きなくてはと思い、頑張りました。

和裕さん…父は大学に行きたいという思いがありながらも、家族の事を考え八高卒業後就職をしたため、私にはどうしても大学へ行けと一生懸命言いましたね。

日本が豊かになった昭和50年代に学生だった和裕さん



和裕さん

和裕さん…両親の希望である普通高校の八高に入学したところまでは良かったのですが、その後勉強しなかったもので成績は下がるは、校則違反で親は呼び出されるは。でも悪いと言っても八高の恵ごろはしれています。校則もゆるく、平和でしたね。部活は機械が好きということもあり、放送部に属していました。NHK主催のコンテストなどにも出ていました。ある年コンテストで、すばらしい朗読をされる熊高の女子生徒がいたのですが、何と後の宮崎美子さんでした。

平成育ちの泰希さん



泰希さん

泰希さん…私は3年間野球部に所属していました。

日々の練習は限られた時間の中での活動でしたが、日々工夫して取り組んだことが思い出です。最後の大会は初戦敗退という結果になりましたがとても充実した3年間を過ごすことができました。

勉強面では生徒一人一人の学習意欲が高く、また互いに教えあうという関係ができていたと思います。私自身も友人たちにすいぶん助けられました。

和裕さん…私たちの時代と違って、息子たちは男女関係なく皆が対等に話をし、仲も良かったですね。先生たちとの関係も、我々の時以上にフランクでした。

***三綱領と校歌に対する思い、そして思い出**

淳子さん…私たちの時には校歌はありませんでした。

和裕さん…八高の校歌は今でも歌えますよ。

泰希さん…三綱領にある「自律を旨として協和を重んずる」についてですが、社会に出て働き始めると、個の力が必要なのはもちろんですが、協和することが重要だと痛感しています。高校時代に、もう少し言葉の意味を理解し行動しておきたかったです。

***人生と八高の関わり
ー八高を卒業して**

和裕さん…金融関係に就職し、熊本県や福岡で仕事をしましたが、熊高、済々黌など、他の進学校出身者と比べても、八高出身者は頭の回転の速さや良さなど素晴らしい才能を持っている人が多いと感じました。同時に人間味のある人が多いと思います。

泰希さん…高校時代に学び、大切にしていることは「チャレンジする心」です。

今は仕事でも私生活においてもチャレンジする心を忘れずに取り組んでいます。

最近ではコロナの影響もあり、働き方の考え方も変わり、副業などもできるようになってきました。

知見や視野を広げるために新しい分野への挑戦をしているところです。

淳子さん…私は八高を卒業して本当に良かったと思います。まだまだ混沌とした時代で、高校へ行ける人は、特に女性には少なかった時代に、私は教育熱心な両親のもとに生まれ本当に幸せでした。父がよく「教育はお金では買えない」と言っていました。

まさにその通りだと思います。3年間いろいろな事がありました。良い思い出しかありません。母校愛というものは、ある程度年齢がいつてからわかるものではないでしょうか。

子どもや孫が八高へ行った時はやはりうれしかったですね。

高校時代の友人との絆は固いですよ。卒業後しばらくして始まった交流は、86歳になる今でも続いています。



淳子さん

和裕さん

阿部様、ご協力ありがとうございました。

広報委員会より

広報委員会では今後、「八高家族の物語」を連載する予定です。八高卒の3代続く家族、全員八高卒で商売をされている家族、親子で同じ部活動の家族等を紹介いたします。そのようなご家族をご存知の方は自薦、他薦問いませんので、事務局までご連絡ください。

八高生の気質を考える

村山同窓会長 × 松永校長

るなど新型コロナウイルスの影響はほとんどありませんでした。今、感染者が増えている

八代高校は創立以来125年を迎える伝統校です。旧制中学・八代高女の時代から現在の八高生に引き継がれる「八高生の気質」はどのようなものか、7月30日に村山同窓会長と松永校長に対談していただきました。

ので、2学期の修学旅行・鳳雛祭が実施できるのか不透明で、心配していますが、鳳雛祭は、ご来場の方にはご遠慮いただく方向で進めています。感染予防をしながら生徒には多くの学校行事を体験させたいと考えています。

村山会長 本日は「八高生の気質を考える」というテーマで松永校長とお話ができることになり、楽しみにしております。最近、コロナワクチンの接種も高齢者を中心に進んでいますが、デルタ株の出現で、若い人たちを中心にずいぶんと広がってきていますね。八高ではどうでしょうか。

松永校長 昨年来から、新型コロナウイルスの対応として、卒業式・入学式全てが来賓をお断りしての開催となり、修学旅行・鳳雛祭も中止する等、学校行事がほとんどできていない状況でした。今年度は、感染予防をしっかりとって普通通りの授業を行ない、多少の制限はありますが、学校運営に特に支障はありません。進学については、東大3名、京大1名、国公立大（現役83名・浪人12名



松永校長

合格）、
慶応、早稲田、同志社など主要な私立大学に合格す

と、生徒の気風が明朗淡泊で温順質朴であること等は本校の伝統校風を表す長所としてあげられます。「自ら矜持をもつこと」「自主自律の尊重」「明朗淡泊」等は本校の誇りとする伝統校風であるが、「自信と誇り」をもつ反面「八代大学的な自尊心過剰」を生み、「明朗淡泊」である反面「鷹揚すぎる呑気過ぎ」「曇たいまつて根気強さ粘り強さ」に欠け、「温順」である一面「覇気、積極性、進取性」に乏しいこと、また「自主自律を尊重する」長所をもつ反面「節度



村山会長

欠け、集団の中の一員としての自覚が不足していること」等は本校生徒のもつ気風の短所として真剣に反省し、将来改善に努力していかなければならないと式辞にて述べであり、「八高百年史」に残っています。

松永校長 生徒の気質については同感であります。三綱領については、すばらしい綱領で、校長講話において生徒にも意識させるようにしていますが、卒業後に振り返る時、綱領があつたなと思うのが現実ではないでしょうか。

村山会長 創立以来、世の中が随分と変わっていますが、八高の気質は基本的には変わっていないと思います。三綱領はバックボーンで、卒業後意識するようになるものと思います。旧制中学、八代高女の校歌にも綱領に近いものが歌い込まれています。旧制中学は文武がしっかり歌われ、校歌「道」の2番には、八代の大地を潤す球磨川が歌われていますね。

松永校長 八高創立120周年（2016年）の記念式典に、県教委の担当として出席し、校歌「道」を聞いた時には他校とは違う何か胸に刺さるような鳥肌が立つ感動をしました。八代にとつて球磨川は特別な存在で心の支えでありますね。校歌に「道」という題がついていることは全国的に珍し

く、生徒たちもそれについてよく理解し誇りをもっています。本校の進路の冊子も「道」としてあります。

村山会長 先日の高校野球の試合でベスト4となった時に校歌と一緒に歌ったが、涙が流れ感動しました。私たち世代も含めて校歌への思い入れが深くあります。

松永校長 現在、八高生には、「八代学」として地元の人に話を聞き、八代の課題等を自ら考え、発見し、答えはひとつではないという探求活動をしています。能力の高い生徒が多いので、自主的に思考を巡らし自分の人生や将来を考えられる素養をもってほしいと思っています。

村山会長 目標設定することを大リーグの大谷選手が高校時代からシートに記入して今も実践していますね。それはとても大事であると感じます。小さい頃から目標を決めることが身に付くと高校生になる頃にはきちんとした目標設定ができるのではないかと思います。校歌「道」はきちんとした目標をもち、着実に一歩一歩、歩き出していく志の応援歌であると思います。八高生の気質は創立以来脈々と続いていると感じますね。



地区からの「お便り」をご紹介します。

関東地区同窓会

現在、会の活動がないので、関東の史跡のご紹介をさせていただきます。

東京の

「加藤清正ゆかりの地」探訪記

加藤清正は、肥後熊本藩の初代藩主で、八代とも関係が深く、干拓事業などを行い、治水のために1608年（慶長13年）に球磨川下流に、石造の斜め堰「八の字堰」を築造したそうです。

八の字堰は、1968年（昭和43年）に可動堰である遙拝堰が築造されるまで、350年以上も球磨川の治水と利水の要として機能していたこの事…スー！

【<https://from-doboku.jp/n/4b7e877817fbより>】

東京には熊本関連の史跡・文化財等が数多く残されており、肥後熊本藩の屋敷跡などの加藤清正ゆかりの地も多くあります。

また加藤清正が熱心に信仰した日蓮宗の寺院も多くあるため、加藤清正に関する史跡等も少なからず残されています。

池上本門寺

池上本門寺関連
ホームページ

東京都大田区の池上本門寺は

日蓮宗の大本山で、加藤清正と縁が深く、関連する文化財が幾つか残されています。



代表的なものに「石段」「加藤清正供養塔」「加藤清正室（夫人）層塔」などの大田区文化財があります。

覚林寺

覚林寺関連
ホームページ

白金の覚林寺（日蓮宗）は、

清正公の守護仏である釈迦牟尼仏を本尊とした本堂があり、本堂の他に清正公をお祀りした「清正公堂」があります。

5月4、5日には、端午の節句「清正公大祭」が開催されます。



明治神宮

清正井関連
ホームページ

敷地の一部に肥後藩加藤家下屋敷跡が含まれており、清正公が引いたと言われる井戸は「清正井」と呼ばれ、今もちゃんと水が湧き出ています。



近年、関東屈指のパワースポットとして紹介され、見学行列ができていた為、井戸のある明治神宮御苑は、コロナ対応として休苑されています。

詳しくはこちらをご覧ください

<http://www.85kantou.com/2021/sec/>

2021init_kantou_manuscript.pdf

なお、本記事は史跡案内の内容ですが、豆知識・知識補充の目的で書いております。



現在「コロナ禍なので、旅行や観光、お出かけ等をお勧めするものではありません。

これをきっかけにネット検索など利用して、ステイホームでセルフのオンライン・ツアーなどお楽しみいただければ幸いです。Thank you.

私たち関東地区同窓会は、関東一都六県とその近県の卒業生、旧職員等を会員として活動しています。

会員はおよそ2千4百名で、学年幹事会を開催して運営しております。

活動は「総会・祝宴」「倶楽部活動」等を行っており、ホームページ、facebook等を使い分けて情報交換し、交流の充実を図っております。

会の活動について

関東地区同窓会では例年「総会・祝宴」やゴルフ、スポーツ観戦、観劇、鑑賞会、飲み会など「有志の倶楽部活動」などを行ってきました。

しかし現在は、2020年より続く「コロナ禍のため、緊急事態宣言と、まん延防止等重点措置の発令が繰り返されている状況です。その為、会の活動は役員、当番幹事等メール、SNS等を使って検討し、2021年も前年に続き、集まって行うすべての活動を中止しております。

特に総会・祝宴は楽しみにしている方が多数おられますが、我々がクラスターになる訳には行かないので中止し、皆さまには我慢していただいております。

なお、活動休止に伴い、会費については、寄付は受付けていますが、徴収は行っておりません。

今後について基本的には、ウィズコロナ時代に応じた医療体制の充実、治療薬により良いツクツンの開発、治療方法の確立などが出来るまでは、集会等は控えるべきと考えられます。

来年には事態が好転することを期待し、2022年の総会・祝宴、各種活動の準備をしていきたいと考えております。

通信・連絡

関東地区同窓会のホームページ「八高関東」と混む」は、各種ご案内・報告事項などを掲載しております。



「http://www.85kantou.com/」にアクセスしてご覧ください。

また、ニュース、お知らせなどはfacebook「https://www.facebook.com/85kantou/」に随時掲載しております。

(広報担当 高20回卒立岡誠治)

関東地区での住所変更は、ホームページ「<http://www.85kantou.com/>」をご利用ください。

東海同窓会



東海同窓会副会長
岡田多美子(高21回卒)

八代高校東海同窓会の近況を報告します。2年続けて同窓会総会・懇親会が中止されるというコロナ禍の中、私たちは「八高東海同窓会」というグループラインで参加者間での交流を深めています。

毎朝7時に、植物に関する知識が豊富な村田さん(高15回卒)が、「今日の花」という題で美しい花の写真に合せて花の名前、花言葉や花の特徴等を送信してくれます。

これを受けて、参加者からその花についてのいろいろなご意見やご質問が返信されます。ご意見等を受けた村田さんは、すぐに分かりやすい説明を加えて返事をしてくれます。

私も自分の庭に植えた花がアップされたときや質問に対する的確な回答があったときには嬉しくて何度も何度も読み返しました。

先日の「ハスの花」の日には、ラインを見た参加者から「八代城の濠に咲いていたハスを思い出します」と返信が有りました。

た。それを

見た別の人から「あ

れはハスで

すか?スイ

レンでは?

八高校歌で

は球磨の流

れ速く古城

の濠深く沈

み睡蓮(す

いれん)の

花清らかに

とあります

【ハス(蓮)の

花】が」と続

きました。また、次の人から

は「花を愛した印象派画家モネの絵は睡蓮

(すいれん)でしょう」との返信。話題は

どんどん広がっていきま

した。

もっとも私は、美味しい「故郷八代のか

らし蓮根」を思い出したのですが。皆さん

は何を思い出しますでしょうか。

最近、参加者から「近所の散歩道で道

端に生えている雑草、花好きの家の庭に咲

く花々、街路樹の木々など多くの植物に注

意を向けるようになりました」との返信も

多くなっています。

その他、愛知44高会(昭和44年・高21

回卒)のゴルフ同好会の面々は万全なコロ

ナ感染予防対策を講じたうえで、毎月のゴ

ルフを楽しみ、親睦を深めています。

また、八代市の歴史的な遺産である妙見

町の麓にある懐良親王ゆかりの御小袖塚の

整備が計画されています。少しでも役に立

てればと願い、募金活動を行いました。



広島県同窓会

広島県同窓会事務局

村田 栄治（高28回卒）

八高同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年も広島県の同窓会は中止となりました。来年こそは同窓生の皆さんと楽しい時間を共有したいと願っています。

さて、私事で恐縮ですが、広島を初めて訪れたのは、中学校の修学旅行でした。既に半



工事中の広島駅南口



宮島口旅客ターミナル

世紀が経過し、広島も大きく変わりました。そこで、今回は大きく変わった場所をいくつかご紹介したいと思います。

最初は、世界遺産でもある宮島周辺を。ご承知のように、宮島へ行くにはJR宮島口駅から徒歩でフェリー乗り場へ向かうのが一般的ですが、昨年2月29日、宮島口フェリーターミナルが完成しました。単なる乗降地としての機能だけではなく、乗降前後の時間を楽しく過ごせる場としての機能も充実しています。

一方、陸の玄関口JR広島駅では、現在、大きなプロジェクトが進んでいます。ちょうど、北九州市のJR小倉駅のように、駅の2階部分に市内電車が直接乗り入れることができるよう、工事が行われています。完成は令和7年春の予定です。

最後は、野球場。カープといえば広島市民球場ですが、こちらもご承知のように、平成21年4月、国内でも屈指の天然芝球場に生まれ変わりました。

新しい市民球場（マツダ ZoomZoom スタジアム）は、広島駅南口から東側に延びる道路を10分ほど歩けば到着します。大リーグ



完成後の広島駅南口～JR西日本のHPより



広島駅からも近い新市民球場

の天然芝球場を手に、観客が楽しめるボールパークとして、今も人気のスポーツです。

以前広島へ来られた方は当時の広島に思いをはせながら、初めて来られる方は広島今の姿を見れば、是非、お出でください。タイミングが合えば、ご案内もできますよ。



兵どもの夢のあと旧市民球場跡地

山口県同窓会

山口県同窓会事務局

重田 千恵子（高18回卒）

闘病中の母の容体がよくないとの知らせを受けて、今年の3月、一年数カ月ぶりに八代に行ってきました。

管につながれたままベッドに寝ていた母は私を見るや、「同窓会のあつとかい」と聞いてきました。認知機能も衰えた母は、私がお実家に帰って来るのは同窓会の時だ、ぐらいいにしか覚えていないのでしょうか。

ということは、それほど私は同窓会によく出席しているということですね。年に一回、本部の同窓会で同期の人達と過ごすひと時がとても楽しいのです。今はおじさん・おばさんになってしまった私達ですが、この仲間達と一緒にいる時間だけは青春時代に帰れるのです。同じ空気を吸って高校時代を過ごしてきた仲間というのは、私にとってとても大切なものです。

また、10年前に山口県同窓会が発足してからは、卒業年度は違いますが、ふるさとや母校の話のみならず、悩みごとなども相談できる友人ができ、ありがたく思っています。

コロナのせいで去年も今年も同窓のみなさんに会えませんでした。来年はコロナが終息して、また楽しいひと時が過ごせるよう願っています。



大分地区同窓会

大分地区八代高校同窓会報告

松本宏次（高15回卒）

「おい皆あつまれー」という風には行かない環境でコロナウィルスの不安もありますが、八高を卒業して、生き生きと活動されている同窓生が沢山おられます。この同窓生の皆さんの顔を、声を、生で感じるためにも、前岡顧問の元気な声一発で、大分地区同窓会を、令和2年11月7日に前岡顧問の別荘にて開催しました。出席者5名（プラス規格外参加1名。草柳会長の挨拶から始まり、皆さんそれぞれ個性のある、大分での暮らしとか同窓生の活動のお話を聞き、その息吹に包まれると、おつ、皆生きている、生のホツとする感情が生まれ、元気が湧き出ました。



日頃のスマホの会話やテレワーク等が、言い換えれば、肌、息を生で感じられない生活がいかに不自然で、人間的でないか、知らされ

た時間でもありました。同窓会万歳です。

また、開催場所に使わせていただいた別荘の温泉では、安らぎのひとときをいただきました。今回参加出来なかった同窓生とも、次回お会いできることを楽しみにして、散会。

なお、当日参加できなかった同窓生田浦さん（高18回生）から、大野川の河川敷（輪中）で収穫された、殻付きのクルミと桑の葉の粉をいただきましたので、皆さんに分配、楽しんでもらえたものと思います。

長崎地区同窓会

再会の日を楽しみに！

地区同窓会事務局 徳永哲郎（高27回卒）

長崎地区をはじめ各地区の会員の皆様方、元氣でお過ごしでしょうか？ 収束の気配さえ見えない新型コロナの猛威、各地に甚大な被害をもたらした八月の大雨。多分に漏れず、長崎も何かと不自由な生活を強いられている。

このような時だからこそ、郷里「八代」で繋がった仲間と楽しい時間を共有し、鋭気を養いたいところだが、世情が許さない。長崎地区同窓会の活動も、一時停止の状況である。

「時を戻そうー」と言つて、戻ればいいのだが？ 幸いなことに、長崎地区同窓会は、二月の第一土曜日に定例会を開催してきた。本年度の開催については、十一月下旬まで、コロナの収束状況を見定めたうえで、その可否を決定したい。

ところで、今、長崎の玄関口である長崎駅周辺が大きな変貌を遂げようとしている。来る二〇二三年三月長崎新幹線の開通をめざし、大規模な整備が進められている。かの有名なヒルトンホテルも進出、近くには、J2Vファアレン長崎のホームグラウンド、B3ヴェルカ長崎のアリーナ建設も予定されている。



再開発が進む長崎駅

コロナ収束に伴い、観光とスポーツ振興都市長崎として、多くの人で賑わう日もそう遠くはないだろう！ そして、長崎地区同窓会も誰はばかりことなく、盛大に開催したいものである！

関西同窓会

前会長より

二代目会長 宮崎正郎（高14回卒）

八高関西同窓会は37歳になりました！

今年6月、三代目会長として高24回生大川郁夫氏が就任いたしました。下級生が上級生を慕い尊敬する1本の大きな絆は健在です。

新会長より



三代目会長 大川郁夫（高24回卒）

この度、私は八高関西同窓会役員会の皆様のご推挙により、令和三年六月より、宮崎正郎会長の後任として、第三代八高関西同窓会の会長を務めさせていただきますことになりました。

私は高校二十四回卒で、父が中学、母が高女、兄が高校二十回の家庭で育ちました。父（大川英毅）は私が生まれる前から、松江の旧校舎で社会科の教員をしておりました。私が永碇の現校舎を卒業した年に県庁へ異動するまで、八高奉職以来、一度の転勤もなく、天草河浦高校での三年を経て母校の校長として戻り、教員人生最後の五年を八高で終えました。

八高は父の歩んだ道の原点、人生の大半でしたが、幼年期に訪れた八高と学び舎の八高は私にもあこがれと高き望みの原点であります。

八高関西同窓会は、歴代の会長を始め多くの役員の皆様、関西地区同窓生の皆様、本校の皆様方のご尽力により築かれて参りました。それを思いますと責務の重さに身の引き締まる思いであります。浅学非才ではありますが、諸先輩、会員の皆様のご支援を賜り、同窓会の発展に全力を尽くして参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。このコロナ禍が一日も早く終息し、会員の皆様の交流や親睦活動が復活することともに、会員、ご家族の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

学年活動紹介

高10回卒 昭和33年卒

バスツアーの最終便は 晩秋の古都奈良&京都へ

橋口 敏昭

関西三三会のバスツアーは、2001年の5月、三重県の志摩合歡の郷での集いからスタート。今ではメンバーも高齢化して遠出がし難くなり、今回をもって最終便となる。当初の計画では、6月に京都妙心寺の塔頭東林院の境内に咲く「沙羅双樹の花」を愛でる予定であったが、コロナワクチンの接種時期と重複。10月に時期をずらし、晩秋の古都奈良&京都への旅に内容を変更。

2021年10月27日は、奈良の斑鳩の里



若草山山頂にて

「清水山吉田寺」に参拝して法話とボケ封じの祈祷。そこから場所を奈良市内へと移動。ガン封じの笹酒で有名な「南都七大寺大安寺」へ。ここで

も法話とガン封じの祈祷を受ける。

宿泊は京都駅八条口のホテル。2日目は京都迎賓館、下鴨神社、世界遺産元離宮二条城、嵯峨野を散策。

20年間伊勢志摩。北陸、美濃、飛騨。若狭から丹後半島。山陰、山陽道。淡路島から四国道へ。10回生の思い出を満載したバスツアーの最終便を降車して見送る...

高14回卒 昭和37年卒

八代の話題

柏田 忠

毎年続いて来た学年同窓会も昨年、今年と中止になり、盆正月、お祭りなどもほぼ中止状態で、メリハリのない月日を過ごしています。そう言う事で同級生の消息も伝える程の話題が無いので、私の関係した八代の話題を少し紹介します。

昨年の大水害で壊れた国道、県道などは仮復旧の段階で、肥薩線は復旧計画も立っていない状態です。坂本町の住民の多くが仮設や、みなし仮設に住んでいます。治水のめどが立たないと帰れない状態です。

県はやっと、55年前から決まっていた川辺川ダム建設に着手するそうですが、今から環境調査を追加するそうで、これでは何

時完成するのか全く分かりません。

次はユネスコ無形文化遺産に登録された(H28) 妙見祭の伝承館(お祭りでんでん館)が新しく厚生会館横に出来上がりました。大画面で迫力ある祭り風景に笠鉾の展



お祭りでんでん館

示がなされます。ただ展示は一か月交代で一基ずつの展示です。元々鉾は京都祇園祭に登場するような飾りのない鉾で悪霊が取りつく依り代、悪霊にお祭りを楽しんでもらい、悪さをしない様をお願いするのが起りと言います。八代の笠鉾も一本の鉾に三段位の屋根を吊り下げた進化した型で、常時展示するには強度の問題があるそうです。

きれいな美人はきやしゃと言っ事でしょう。

昨年「八代を創造(たがやした) 石工たちの軌跡...」というストーリー名で全国に名を轟かせた八代の石工の里が「日本遺産」に認定されました。これには眼鏡橋だけではなく千拓樋門や来年築城400年を迎える八代城の石垣なども含まれます。コロナが終息したら是非お越しください。ガイド協会もできていますので案内いたします。



CGで再現された八代城

(八代工業インテリア科制作)

旧・八高校舎あたりから見た築城400年を迎える八代城。昨年石垣が日本遺産に認定された。手前北東・3階櫓、奥・北西大天守。右下、北の丸に通じる屋根付き橋。

卒業30年記念同窓会

松本 邦彦

2020年1月2日アルデアアルカサー
ル八代において、卒業30年の同窓会を開催
しました。

構想から約1年半、「あれ？卒業30年目の
同窓会ってしたんだっけ？」という会話か
ら、気が付くとその場に私はいなかったの
に、なぜか実行委員長の大役を仰せつか
り……。

その後、何度も打ち合わせを行い、最新
住所録の再編をはじめ、イベントの立案、
会場の手配、案内送付などなど、そして当
日の運営対応とまるで体育祭や文化祭のノ
リで、今にして思うとあつという間でした。

もしも開催日が夏だったら、コロナ禍で
開催すらも危ぶまれたことでしょう。ギリ
ギリのタイミングでした。

最終的には5名の先生方（水元義和先生、
田中大先生、藤井林蔵先生、島田和義先生、
栃原勤也先生）を含む146名の参加者と
なり、とても盛大な会となりました。

学生時代に全く関わっていなかったり、
会話もした記憶が無かったり、はたまた名
前ももう覚えだったりする同級生たちが、
笑顔で語り合っている姿を見て、開催出来
て本当によかったと思いました。

それもこれも、元氣に出席してくれた同
級生や先生方と、なにより幹事・実行委員

の皆さんのおかげと心から感謝しています。

私たちは昭和に生まれ、平成元年に八高
を卒業、ちょうど卒業30年目をすぎて平成
が終わり、令和が始まりました。

節目ごとに元号が変わり、皆それぞれの
人生において大きなうねりや激動の中で生
きてきたように思います。

熊本地震を経験し、毎年のように起きる
洪水などの豪雨災害に見舞われ、そして今、
新型コロナウイルスという大きな難題に直
面しています。

高校3年間で培った「八高魂」と、強い
絆で結ばれた「仲間」。皆の力で、コロナを
収束させ、また近い将来、同窓会で会える
日を楽しみに、元氣に頑張っていければと
思っています。



ホームページリニューアルしました！

<https://hachiko-dosokai.com>

New!

この度、八代高校同窓会ホームページをリニューアルしましたので、お知らせいたします。

今回のリニューアルでは、より見やすく、使いやすく、親しみやすいホームページを目指して、デザインやメニュー構成を見直し、新コンテンツ（大学生の活動を紹介する【はちこみゅ】、アンケート）も追加しました。

ホームページリニューアルにともない、八高同窓会の facebook ページ、インスタグラムアカウントも新規で作成いたしました。今後こちらの SNS でも情報を発信してまいります。

今後も使いやすいウェブサイトの運営を目指し、内容の充実を図るとともに、最新の情報を発信してまいります。

記事等の掲載希望の方へ

地区同窓会、学年等の記事、告知、案内、また各地区ホームページ、SNS の紹介等の掲載をできるだけ行いたいと思いますので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。ただし、掲載可否については事務局で判断させていただきますのでご了承願います。

八高同窓会
Homepage
SNS



ホームページ



facebook



Instagram

幻の大同窓会！ 担当幹事学年38回に聞いてみた

コロナ禍により2年連続で大同窓会が延期となりました。38回卒の皆さんが大同窓会の幹事学年として携わる予定でしたが、その準備も虚しく、来年は39回卒が担当することに。そこで、今回は、38回卒の皆さんに延べ2年に渡る大同窓会準備の苦労話や今後について、率直な意見を聞いてみました。

出席者…令和2・3年大同窓会

実行委員の皆さん(高38回)

井戸繁夫さん 坂田誠さん

野々原慎治さん

聞き手…同窓会長 村山忍



坂田さん

ページを掲げて発信しようとしていました。講演会の講師候補は氣象予報士の平井信行さ

んと行政書士をされている方を予定していました。新しいアイデアとして大同窓会の会費徴収は電子決済にするなど考えていました。

井戸…コロナもあり、平井君が難しければ私が講演しようと思いましたが(笑) 坂本の災害ボランティアに参加していたのでその話も。私たちの学年が何事もなくでざればと思っていました。



井戸さん

まいったなというのが正直な感想です。

野々原…私は、今迄連綿と続く同窓会が恥ずかしいように進められたらと思っていました。2回中止になり、やれなかったことを後輩に繋ぐのが心苦しいと思っています。

村山…氣象予報士平井さんの「氣象」と三綱領の中の「進取の氣象を尚ぶ」の氣象を掛けてあるのかなと思いました。

坂田…そうです。坂田道太さんが書かれた「氣象」は一般的にいう「氣象」ではないのですが、平井さんの「氣象」に掛けてみました。

苦労した点は集まらないこと。しかし、本来の苦労をする前に終わってしまったので、実際に今まで幹事をされた学年の方々に比べたら苦労はしてないので申し訳ないなと思います。

村山…大同窓会の担当責任を果たせない、という、気持ちの面で苦しい思いは？2年目はアンケートを取られましたよね。

井戸…直前に私達の学年で取りました。同窓会をやりたいという意見、次の代と合同がよいという意見もありましたが、2年出来なかったからもう次の学年に、という意見が多かったです。同窓会をすることによって学年のまとまりが生まれ、苦労すればするほど絆が生まれます。何もなく終わったので、まとまる機会を失い、現在はバラバラに…。

坂田…学年同窓会は10年おきに開催しましたが、時が経つほどに面白くなっています。この勢いで大同窓会、次は還暦同窓会、その後の学年同窓会と思っていたので、残念でした。これに替わるものを5年目にしたいと思っています。

村山…全体同窓会を担当した後が最も学年が活性化しますよね。でもこれからです。

坂田…直近の同窓会後にラインの繋がりができ、その後熊本地震があり、同級生仲間の助け合いのコミュニケーションが広がっているのを見て良かったなと感じました。熊本豪雨災害の時も人吉に住む同級生に声を掛ける人がいたり。繋ぐことが大事ですね。

村山…38回卒幹事の大同窓会が遂に取り止めたになった時の率直な感想をお聞かせください。

井戸…ホツとした気持ちもありますが、後々やりたかったと思うかも知れませんね。
野々原…53歳になったら自分たちが大同窓

会の幹事をやるんだ、という通過儀礼を全うすることが出来なかったというのが非常に残念であり、後輩たちに申し訳ない気持ちです。幹事を担当することで大同窓会デビューという人たちが増えて、学年の同窓会が活性化していくという期待もあったので、きっかけを失ってしまったのは残念です。近いうちに学年同窓会をやっていたらと思います。



野々原さん

村山…次の大同窓会担当学年の皆さんに一言アドバイスをお願いします。

坂田…今後はコロナに左右されると思うので、大変だと思います。しかし、新たなチャレンジをするには良いタイミング。新しいことを取り入れてみてはと思います。そのための人的なこと、作業的な事、協力はしたいと思っています。

野々原…後輩たちには言いにくいと思いますが、先輩を使ってください。依頼があれば惜しみなく協力したいと思っています。

村山…大同窓会は同窓会の一番大事な事業なので、是非、先輩に指導助言をお願いします。本日はありがとうございました。



『明日の天気は？』

気象情報で住民の命と財産を守る

気象予報士平井信行さん・早田螢さんが、大いに語る
(高38回) (高57回)

昨年の球磨川流域を襲った7月豪雨、そして今年の8月の大雨と最近、異常気象が連発しています。そこで、八高同窓生で気象予報士の平井信行さん（高38回）と早田螢さん（高57回）に、「これからの気象情報の在り方や、どうしたら住民の命と財産を守るのか」東京―八代間をリモートで繋ぎ、大いに語ってもらいました。

小さいころから

球磨川の氾濫を見てきて、
気象予報士になろうと思った

平井

私の住まいは植柳で、球磨川のそばに学校があつたので、子供のころから大雨で橋が渡れず、休校になったりする事がしょっちゅうありました。また、2歳まで住んでいた生家が去年水害にあつた坂本町荒瀬の合志野で、古くから頻繁に水害があり、母曰く「豊くらいまで水が来た」と言っていました。八代市内に越してきても、水害のたびに坂本に後片付けに行き、畳をひっくり返して床下を消毒していました。自ずと防災に強い関心を持ち、防災への道、気象の世界に進みたいなと希望を抱くようになりました。小学校6年生の時に書いた自伝に「将来は気象台の仕事に就きたい」と夢を書いていきます。中学校の卒業文集には「NHKの気象予報官になりたい」と書きま

した。それくらい気象に強い関心があり、災害を少なくする仕事に就きたいと思っていました。



平井信行さん

早田

私は、子どものころから坂本が大好きで「なんで大雨が降るんだろう」「こういう自然を残したい」という想いがあり、川のごみ拾いをしたり、NHKの天気予報もよく見ていました。高校生の時に地学を学び、天気って面白いと思ったのが気象予報士になりたいと思ったきっかけです。今日は小

さい時から見ていた平井さんとお話できて本当につれしいです。



早田 螢さん

昨年の7月豪雨の教訓 災害はいつ起こるかわからない

早田

私は、坂本で育ったので、球磨川の怖さを知っています。平井さんは昨年の豪雨で



令和2年7月豪雨で被害にあった平井氏生家周辺

坂本の生家が被災されて、私もその建物を
見るたびに心が痛みますが、豪雨に対して
感じるものや思いなどありますか？

平井

自分が生まれた家や、よく遊んでいた祖
父母や親戚がいた場所が無くなる喪失感
は大きいです。心にぽっかりと穴が開いたよ
うな気持ちで一年間過ごしてきました。私
は災害の後、7月下旬に日奈久から山道
を通って生家に行きました。支流も土石流で
やられていて、やはり相当ひどかったのが
状況からわかりました。真上から降ってき
た雨100ミリが数時間降っていたので、
ひどい状況でした。球磨川の本流に來たら、
防災無線の上のほうに「ミ」がいつぱい引
かかっているよく叔父叔母は助かったなど
思うくらいの水の深さに言葉も出ません
でした。車がひっくり返り、家ははずたに
流され、坂本のドライブインも
無くなり、津波のような被害の
後を見る気持ちでした。そし
て、生家の木も倒され、中も流
され、窓は割れていて、しばらく
くボーツと立ってました。球磨
川のほとりに何年前に堤防が
出来たのですが、それをはるか
に超える水の勢いで、いざとい
う時はインフラも役に立たない
んだなと感じました。叔父叔母
が言っていました、「堤防が
あるから逃げなくていいだろ
う」と。それが逆に、安心感が
あつたがゆえに逃げ遅れて、首

くらいまで水に浸かり、家の中に閉じ込められたそうです。水圧で窓も開かない。そのうちに水がどんどん増えてきて、球磨川の水は冷たいから叔母が低体温症になってしまい、屋根の上から助けられたそうです。救助隊が屋根をぶち破って、引き上げてもらいドクターヘリで運ばれたという状況でした。不幸中の幸いですけども「よく生きていてくれたな」と、それが私の心の慰めでした。



生家をバックに球磨川の河原で撮影した母に抱かれた平井氏と姉

気象情報をもっと身近なものに

平井

悔しい思いをしたのが、前日の夜NHKテレビの全国の気象情報に出ていて、これは熊本と鹿児島が危ないと分かった時でした。線状降水帯が発生しつつあり、夕方あたりから兆候が見え始めていたので、番組責任者に「今日は危ないから九州の話をする」と伝えました。「朝まで続くから危ないです、災害級の大雨が降ります」と、放送2分間、必死の思いで伝えました。前日の放送で伝えていたにも関わらず犠牲者が出

てしまったこと、救えなかった故郷の姿に悔しく、予報士として無力感があり、1年経ってもずっと残っています。それからどうすればいいか色々考えたときに、SNSにたどり着きました。情報を伝えるには複数の伝達手段がないとダメだと言われます。テレビ、ラジオ、スマートフォン、防災無線、広報車など複数のものが重なり合って初めて、人の役に立つ情報になると思います。最終的には近所の人の声掛けが一番だと思います。SNSを使って放送以外でも防災を伝えていけるツールを持たなければいけないと思います、フェイスブックやツイッター



リモート対談

を始め、防災情報を流すようになりました。1年経ち、自分の中でも前向きにとらえて、動かなきゃいけないと思ったところ、今回、早田さん達八代の方といっぱい繋がりました。やはり「みんな頑張っているんだ」「一所懸命復興に向かって汗水垂らしているんだ」「俺も頑張るばい」と思いました。

早田

そういう経緯があったんですね。テレビ等でポイント情報を出すのは中々難しいと思います。現状としてメディアで呼びかけているのは、予報よりも災害が起こった後のほうが比重が大きいと感じています。だから、SNSで危険が迫っているときにリアルタイムで発信できるのは強味だと思いますね。平井さん、素晴らしいです。

平井

早田さんのフェイスブックを拝見すると、熊本の情報をきめ細かく、一般の方が分かるようにかみ砕いて解説してらっしゃるので、ずっと続けてほしいと思います。

地域と気象予報士の関係

平井

私は2003年水俣豪雨の際に新聞のコラムで「各自治体に気象予報士の配置を」という提案をしました。あれから時が経ちましたが、いまだに自治体において気象予報士を活用している所は全国に約1700ある地方自治体の内、11市町（令和3年9月時点）にとどまっています。自治体では数年に一度の人事異動があるため、防災対

応の現場に専門家がいないというのが欠点です。防災士を常駐させるという案もありますが、防災士は地震や火山、気象の知識はあっても「気象の予測」はできません。ですから、防災士の資格を持った気象予報士がいることが望ましいと考えます。地域に密着した気象予報士（防災士の資格あり）がいることで、その地域の山や川、街の名前が出てくるようなきめ細かな防災気象情報が提供でき、住民にわがこととしてとらえてもらえると考えます。そして、日常的には、地域の実情に応じた防災教育を行い、地域の住民や団体と交流して顔の見える身近で信頼される存在になることが大切だと思います。例えば、球磨川流域では、八代市、球磨村、芦北町、人吉市、山江村、湯前町などの12市町村に防災士の資格を持った気象予報士を配置し、市町村間での連携を図ることで予測が難しいとされる「線状降水帯」の兆候を複数の目で監視でき、集中豪雨の見逃しを防ぐことにもつながります。いざ、豪雨が発生し始めたら、日ごろから交流している消防団や自主防災組織、自治会、民生委員、学校、公民館、福祉施設などの団体や人への危険通知を素早く行うことが可能になります。こうして、いろんな人の繋がりで、地域の実態を日ごろから把握していると、いざというとき、的確な情報を地域の人々に伝えることができると思っています。

早田

私も、昨年の7月豪雨を経験して、地域の地形や気候を熟知した気象予報士がいれ

ば、より地域に特化した精度の高い情報が出せると感じました。それが結果として尊い人命を救うことに繋がると思います。



講演する早田さん

気象予報士として

これからどう取り組むのか

早田

私のSNSを見て、避難したよとか、声掛けをしたよ、という言葉を見たんだけど、小さな発信でも役に立っているんだなと感じます。平井さんは、気象予報士の最前線で活躍されて、今感じられていることなどありますか？

平井

1996年にNHKでやり始めて、昔は気象情報、今みたいに簡単に手に入られず、気象庁の記者クラブで取材をして情

報を貰う時代でした。一般の人もすぐ情報が得られる時代では無かったので、当時はテレビやラジオからがメインでした。テレビに始めたころからようやく、情報の出方がきめ細かな情報に変わりつつある時代でした。それが25年前です。情報は言葉で伝えなきゃいけない。その点、先輩方は話術が優れていましたね。画面に頼らず言葉だけで伝えるって難しいですからね。言葉の力、伝達の方法はその時代に鍛えられたと思います。今はマスメディアからパーソナル（個）の時代が変わってきて、スマートフォンを持ち、天気予報も変わらざるを得ないですよ。昔のやり方に新しいものを加えていかないといけない。ただ、根底にある流れが変わらないのは防災です。公共の電波を使って伝えるのは人の命、財産を守る。これは揺るぎないものがあると思います。そこはキャスターとして磨いていかないといけないのですし、それだけはなくしたくありません。そこを捨てたら平井の特徴がなくなってしまうくらい生命線だと思います。

早田

平井さんの分かりやすい天気解説や文章の構成などは、素晴らしい先輩方、そしてラジオで培ってこられた今までの積み重ねがあるんだなと改めて感じました。平成30年の西日本豪雨ですが、気象庁が緊急会見を開いて大雨の危険を伝えたにも関わらず、230名を超える犠牲者が出たことがありました。その反省点があり、伝え方が変わったと思います。今年8月の長雨の際は、

「西日本豪雨に匹敵する」という言葉を用いたりしながら、テレビやラジオ等でしっかりと危険を呼びかけ、伝えたことが人々の行動、被害の軽減に繋がったと思っています。

平井

直近の災害が皆さんの記憶に残っているから、そこは大きいと思います。西日本豪雨に匹敵する、超えるなどのキーワードがあることがマスメディアの力かなと思います。あと、パーソナルな部分でいくと西日本豪雨後「どうやって避難をしたか」という調査があり、調査の結果、大きなきっかけは「身近な人の声掛け」だったそうです。マスメディアとしては、「九州のおじちゃんおばあちゃんに危ないと伝えてください」と口酸っぱく言い続けました。その結果が出てきていると思います。

早田

なるほど。そういった伝え方もあるんですね。伝え方も以前は「マス（大量・多数）」に向けてだったのが、現在はネットやスマホの普及により、「パーソナル」に向けた伝え方に変わってきているんですね。最後に、これからの活動で考えていることはありますか？

平井

2つあるのですが、1つ目は防災教育をやっていきたいです。皆さんの意識も高まりつつありますが、やはり命を落とす人がいるのはなぜなのか、東日本大震災で津波警報が出ているのに逃げないのはなぜだろうと思いました。調べると、防災教育を

していた学校は率先避難をして、子どもや近所の方々みんなに声を掛け全員助かっているんです。防災教育してるか、していないかでこんなに違い、逃げる感覚を高めないといけない、防災教育を日常的にまた定期的にやり続けることが、災害の伝承にも繋がって助かる人を増やすことに繋がると思います。あと、一つやりたいことは後輩を育てることです。防災を意識して出来る「防災気象キャスター」を育てたいです。



防災教育をする平井さん

早田

素晴らしいですね。私は子どもが3人いるのでなかなか毎日が大変ですが、気象予報士として、防災士としてできることをやっていこうと思います。今日は貴重な意見をお伺いできて、とても楽しい時間でした。アツというまでした！ありがとございました。

古くは「文事と武事」その両道に努め優れていることを指す言葉でした。が、近年の教育現場では「勉学とスポーツ」となり、昨今ではメジャーリーグで大活躍をしている大谷選手の代名詞「二刀流」が、若い世代にはわかりやすいかもしれません。

時代に沿いながら歩んできた当校の「文武両道」をご紹介します。

八代中学校

学友会としての部活動

端艇部 済々黌分校の時代、明治32年9月に端艇（たんでい）ボートを購入し「端艇部」が発足。35年には第五高等学校（現熊大）の挑戦に並び、江津湖で対校戦を行い、本校が二艇身差で勝利。これが、漕艇部最初の対外試合。日々の練習以外、休日には海上へと遠航する楽しみがあったと記録にはあります。

野球部

明治33年春発足。当時、熊本商業、済々黌、熊本中学、熊本師範学校が対戦相手でした。同年秋、初めての対校試合で済々黌に三対二で勝ち。翌年も同校に勝利。

弓術部

明治33年春、少数の職員と生徒で弓術がはじめられ、35年に「弓術部」が発足。36年に「射初式」出席者は54名。その後毎年一回大会が行われました。校内外の演武会や大会などに出場。

庭球部

一部有志の集まりでしたが、明治36年2月に校内庭球試合、37年秋に本校初の対外試合として五高の大会に出場し、熊本中、柳川中、済々黌などと対戦し、次々と勝ち進み、優勝。いきなり八代中学の名を全九州へ轟かせました。

剣道部

学友会に明治42年4月設けられ、教師と生徒5名でスタート。京都青年演武会や熊本学生講武会などへ出場。35年以降、京都青年演武会には毎年出場し、好成績をあげました。この当時は個人勝負でした。

柔道部

明治42年、部として正式に承認。教師と生徒4名でスタート。40年、授業に取り入れられ、京都青年演武会に2名が出場。その後も数年、2名ずつ出場。熊本の青年演武会などにも出場。剣道同様、学校

対抗はなく個人戦でした。

雑誌部

明治35年4月に誕生。7月20日付けで雑誌「白鷺」第一号が創刊。以降、この編集委員を中心に当校の各時代を通じて文芸に対する生徒の啓蒙や学校の出来事なども記録され、当時を知る上で貴重なものとなりました。

演説部など、その他の部

◆演説部

37年「白鷺第五号」に「冷紅」というペンネームの人が「弁論機関の設立を望む」という意見を発表。弁論により自分の意見を発表する機会を求める流れに呼応して、学校に「演説部」の発会式を挙行。

◆朗吟部

明治36年「勸学朗吟回会」が作られ、詩吟、国語漢文の朗読、英文暗誦などが催されました。

◆技芸部

明治36年度発足した書画を主とする部。画学教室で練習に励み、大運動会に合わせて教室で展示会を開き、父兄などに展覧していました。

◆英語研究部

明治36年度発足。この12月「第一回英語会」が教室で開かれ、「朗吟部」と同様に人気がありました。

八代郡立高等女学校

高女の教育目的とスポーツ

県下最初の「公立高女」として明治35年4月に「郡立」で開校（県内の県立高女は明治36年開校）。



明治末期の校舎と運動場（明治44年）

西洋諸国の発展のウラに「内助の功」ありとの評価で、国家的に「模範的女性」「良妻賢母」育成に舵を切り、価値ある「近代的な女子教育」が始まりました。

その授業内容は、中学校が国語及び漢文、英語、数学を中心としているのに対し、女学校は国語、家事、裁縫に重点がおかれていました。教育と手芸は随意科目でした。

女学校設立当初の記録に「部活動」に関するものが見当たりません。学校を卒業し、18・19で直ちに結婚適齢期という時代：：：良き母、良き妻を育てるための場では、教科で技術や心構えの取得を目指すため、「部」としての活動はなかったのかも知れません。体育では、ダンス、簡易ゴルフ、テニス、ピンポン、コロッケなどがあったと見受け

られます。(※「ロッケ」とは、クリケットのことでしょうか?)

大正末期、陸上競技など女性スポーツが盛んになり、県下各高女でも同様となったため、県知事から「...女子が運動をするのはいいが...運動効果を十分に挙げることなく、健康を害し婦人としての品位徳性を損ない学業を妨げてしまう...」(途中略)との訓示あり。

そして、熊本県立八代高等女学校へ

前後しますが、大正12年4月、郡制廃止にもない、熊本郡立から熊本県立八代高等女学校と改称されました。

まもなく「都久志会(同窓会)」や「真美会(校友会)」ができ、大正15年10月「真美会」により「庶務部」「文芸部」「園芸部」「運動部」の四部編成の各部が誕生しました。



八代宮参拝
(昭和4年)

年式典、図書館利用者の情報など
◆熊本音楽会出演の記 「待ちに

真美部会報

昭和8年度の活動状況がうかがえる記事が残されています。

◆図書館便り

図書館の落成式、創立三十周年

待った11月23日、淡い星明りにてらされた未だあけやらぬ道を駅に急いだ...」の書き出しで始まる文章がステキ。皆で「ステイヂ」に上がって独唱や合唱を披露した喜びを紹介。

◆園芸部便り

僅かな借り入れ土地に、四年生はホーレンソウ、三年生はハカタハクサイ、二年生はトキナシダイコン、一年生はコマツナ。懸命に園芸をする様子を紹介。

◆運動部記事

まだ工事中の運動場を紹介。運動どころでない現実と何も練習できない苛立ちがこの記事にあふれています。大会の種目は、「排球(バレーボール)」と「籠球(バスケットボール)」。試合成績は良かったり悪かったり...

そして八代中学

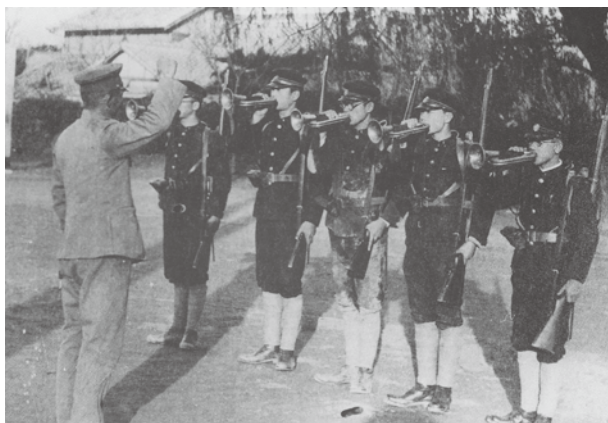
学友会活動の変化 (大正8年)

遊泳部・蹴鞠部・図書部なども加わり、明治末までに存在した14部は大正時代にもそのまま継続活動。但し、演説・朗吟・英語は「学芸部」に統合。

しばらく行われなかった「対校競技」が大正12年度から復活。様々な大会が行われるようになり、選手たちを鼓舞するため二つの「応援歌」が作られ、各大会に応援団をくり出していました。

学校行事としてのスポーツその他

- ・自転車旅行
- ・寒稽古・暑稽古
- ・武道大会
- ・水泳行事
- ・長距離競走
- ・運動部校内競技大会
- ・県下駅伝大会
- ・軍事関係行事
- ・教練査閲



喇叭(らっぱ)部訓練(昭和10年)

八代中学創立四十周年記念式典

(昭和10年)

この前後から軍靴の音が国民生活の中に大きく響くようになって来ました。

「記念体育大会」の中に「中隊教練・演習」「手旗演技」など、国家による国威発揚の事柄が目につく式典になったようです。

太平洋戦争下の八代中学

昭和16年の開戦から早くも17年半ばには敗退の兆しが見えはじめ、学校は教育活動の場ではなく、戦いを推進する組織図のパーツ「学校報国団」となり、学校報国隊が編成。生徒たちは工場や村で作業中心の日常生活となり、軍関係学校へ進む者も...。八代内の主要工場・鉄道・鉄橋へ敵機からの攻撃が激しくなる。

そして敗戦...

かつて「学友会」発足時に「雑誌部」で産声をあげた「白鷺」が、昭和21年12月20日号に平和の声を上げました。

「永らく置き去られ、忘れられてゐた葦辺の卵は文化の地熱に温められて、自らその殻を破り大地をふまへてここに立ち上がった。私どもの愛する白鷺の雛である。そして今や理知にかがやき、情熱に燃えるまなざしを向けて、はるかなる文芸への道の第一歩を踏み出したのである。未だ安歩(あんよ)の域を脱しない、いたいけなこの雛鳥を千五百の皆さんの手で羽ぐくみ育て上げて立派なものになしてほしい。」と、静かで熱いメッセージを白木喬氏が残しておられます。



戦後の「白鷺」第1号
昭和21年12月20日号

戦後、学校制度が変わり「八代高等学校」となります。どんな部活が生まれ、どんなヒーロー、ヒロインが...。次号「道」第14号へ続きます。

頑張っています

御小袖塚の整備に向けて

岡山元紀さん（高10回卒）



御小袖塚は、八代宮の祭神 懷良親王が父後醍醐天皇と母君のご冥福を祈るために建てられたお墓です。後醍醐天皇から征西大將軍として九州を統一する勅命を与えられた懷良親王は支援者菊地武光の隈府城に向かう途中、八代高田に10日間逗留されました。その折、八代宮地の山の麓に御両親のお墓を造られ、後醍醐天皇から形見に頂いた小袖を埋められました。

懷良親王は九州を統一して太宰府に征西府を置き、12年間九州を統治されました。この時、懷良親王は明の太祖洪武帝から日本国王の称号を贈られています。700年ほど前の出来事です。



御小袖塚整備前

平成28年の初夏、初めて御小袖塚を訪れた時、御両親の五輪塔は斜めに傾き、周りを囲む玉垣は崩れ、説明板は苔が生じて読めませんでした。整備しなければと願い、八代史談会、八代商工会議所、八代経済開発同友会、八代青年会議所を回って協力を求め、平成30年12月に連名で御



御小袖塚起工式

小袖塚の整備を求める請願書を八代市議会に提出しました。しかし市議会では継続審議となりました。

継続審議となつて2年半が過ぎた昨年の10月、打開策を求めて八代市役所文化振興課に相談に行きました。文化振興課から、御小袖



御小袖塚メンバー

塚がある宮地の妙見町の町内会と協力して進めたらどうかとアドバイスを受けました。

その後、文化振興課のご協力、妙見町町内会のご努力により、現在、着実に計画が進んでいます。この同窓会報がお手元に届く頃には、美しい姿を蘇らせていることでしょう。

八代の貴重な文化財である御小袖塚が整備され、懷良親王の当時の雅やかな姿を取り戻すにあたっては、八代高校同窓生の多大なお力添えを頂きました。八代高校同窓生の絆の強さがありがたく感謝すると同時に、素晴らしい同窓生がいる八高に学んだことを誇りに思いました。

今までにない新しい空間を演出する・人工芝に取り組んで50年、今全国を飛び回っています。

小崎國人さん（高14回卒）

文・十四回事務局

八高一四回卒の小崎君は高校時代グビー部に所属し、今は八代市役所が建っている元八高グラウンドを飛び回っていた。当時の運動部では昭和三年の新制高校誕生以来、初めて全国の頂点に立つという快挙が二つあった。はじめは水泳で二三回卒の佐藤好助さんの百、二百バタフライで、国体、インターハイでの全国優勝。昭和三十五年の熊本国体では高校生としては驚異的な記録で熊本県の総合優勝に貢献された。当時は八高にはプールは無く代陽小や一中のプールを借りての練習だったという。社会人になってからの東京オリンピックにも出場された。

もう一つはインターハイでのテニス部、男子団体戦での優勝。昭和三十五年八月に徳島県で行われた。決勝戦の相手は地元徳島工業高校で、相手方の大声援の中での重圧にも関わらず（一組 富永・渡辺）（二組 法華津・沢田）（三組、田中・出田）が団体戦で優勝、県はおろか、九州内でも初めての快挙だった。この時は八代駅から八高まで車でのパレードが行われた。

このような運動部の活躍の時代に高校時代を過ごした世代には後輩の活躍に対する期待が大きかったようだ。八代は干拓地に出来た町で、現・八高のグラウンドも水はけが悪い。特に陸上部などがよく使うグラウンドの奥の方は水たまりが出来たりで、練習の妨げになっていた。

大阪で人工芝の舗装業の会社を立ち上げた

小崎君がその話を聞きつけ、八高グラウンド外周を何時でも走れるように人工芝で練習場を作ってあげようと申し出てきた。工事は本格的なもので排水の悪いところには排水管を施設し、砂場には同級の服部君（製材所経営）が提供してくれた腐りにくい木材で枠取りをして、休憩のために木陰の下も人工芝で覆って寝転がるように工夫された。多くの人の協力で立派な施設になったが、私どもが小崎君はえらいと思っているのは大型車両から機材も自分達で大阪から運び、本人が作業服で先頭に立ってやってくれたことである。感謝！



人工芝の休憩場、陸上部の生徒と。



グラウンド外周の練習コース



グラウンドを取り囲むように舗装された砂入り人工芝のコース。左奥に砂場、右が芝に覆われた休憩場所、結束の立て札。

小崎君が手掛けの外周人工芝の「花園」、国内有数のラグビー専用球技場であり、全国高等学校ラグビーフットボール大会の会場としても知られ、同大会は「花園」との通称で呼ばれている。2019年に開催されたラグビーワールドカップの会場にもなった。



古希だけでも頑張っています

エフエムやつしろ 常務取締役放送局次長
上野留美さん（高22回卒）

八高時代の私は、毎日弁当を持って放送室へ通っていたようなものです。小学生の頃に会った放送劇に始まり、ずっと放送好きの女子でした。コーラス部の先生に、話すことに向いてる声だと褒めて頂いて以来、自分の声を活かせる仕事に就きたいと思っていました。

高二で学校放送コンクールの全国大会に出場し、益々その思いは強くなるばかりでした。高3の夏に受験した放送局と日本航空の試験に三次試験まで進んだ



ところで航空会社に合格。そこから私の進む道が新たなものへと変わっていききました。昭和45年の秋から客室常務員としての訓練が始まりました。テレビドラマ「スチューウェダス物語」そのまま

に、のろまな亀の訓練生がいつの間にか何年もの時を空の上で過ごし、自分が教官になるなんて、想像もしていませんでした。



声楽家本岩孝之さん（高34回）と（エフエムやつしろにて）

れた第一回目の六カ国首脳会談（現サミット）に当時の三木武夫首相の御供もさせて頂きました。

空での仕事でも自分が好きでやり続けたことが、様々な場面で自分を助け、自信をもたらし、背中を押してくれました。話すことは自分のルーツになっていったのです。赤ちゃんから高齢の方まで広い年齢層のお客様と接する中で、状況に合った言葉で伝えることの大切さを痛感しながら励むことができました。この経験は私の宝です。

十数年前からエフエムやつしろのコメントーターとしてお話をさせて頂くようになり、現在はわが子世代の仲間と共に働いています。おばさんだけといつまでも「ルミ姉」・・・古希を迎えましたがこのままやらせて頂きます。

ゲストを迎えたり、司会をしたり、局内最高齢リポーターとよばれることもあります。一番好きなのは、舞台脇で緞帳が上がる時、演者の緊張を共に感じながら声を出す瞬間です。コロナが収まり、以前の日常が戻ることを願って、ペンを置きます。

地方と都市部の教育格差をなくしたい

教育プランナー
羽田野祥子さん（高57回卒）



教育プランナーという肩書きでフリーランスとして活動しています。羽田野祥子です。現在は宮崎に住

み、学校内外のキャリア教育や探究活動の支援、企業研修など教育や人材育成に関わる仕事をしています。

高校時代を振り返ると、課外活動のことがばかり思い出されます。演劇部、文芸部、卓球部の3つに所属し、図書委員会でも3年間楽しく活動しました。夏休みに海外でホームステイを経験したり、市立図書館でボランティアをしたり、今思えば少し浮いていたかもしれませんが。友人にも恵まれ、卒業後も旅行をしたり、趣味の話をしたりする、一生の仲間と出会えました。

そんな高校生活を経て、東京の大学に進学した私は大きなカルチャーショックを受けました。出会える人の多様さ、チャレンジできる機会の数、全て桁違いだったのです。地方でも情報は得ることはできますが、経験できるものの質・量の地域格差は計り知れない、と感じました。この想いが今の活動の原点になっています。

大学卒業後は人事系のコンサルティング会社に入り、その後教育系のNPO団体に転職しました。そして30歳の節目の年に東京を離

れ、今に至ります。

「コロナ禍で活動は限られますが、そんな中でも昨年度「にちなん起業体験プログラム」を立ち上げました。中高生が「起業家」となり、本物のお金を使って自分たちで事業を立ち上げる社会体験プログラムです。事業計画を立て、元手となるお金（出資）を集め、オンラインショップを経営するもので、いま2期目が始まっています。



ここ数年で教育を取り巻く環境も教育への期待も大きく変化しています。その変化から地方の子どもたちが取り残されることのないよう、今後も九州全域をフィールドに活動をしていきたいと思っています。



等身大の人間を描く

NHKディレクター 田中 正さん

(高39回卒)



かったのはまぐれで
すが。

ディレクターとして
の新人時代は、福
岡放送局でドキュメ
ンタリー、バラエ
ティ等、様々なジャ
ンルの番組に携わ
り、テレビの仕事の

楽しさ、厳しさを教えられました。95年の阪
神淡路大震災では、地震の二日後に神戸に派
遣され取材、中継を担当しました。被災した
人たちを前に、何もできない無力感を感じな
がら、人の悲しみの深さに幾度も涙しまし
た。上手く言えませんが、この体験を機に、
人生や家族、愛など、人間についてより深く
考えられるようになったと思います。

97年に斉藤由貴さん主演のドラマ新銀河を
福岡で撮
影するこ
とになり、
初めてド
ラマの演
出を務め
ました。

こんにちは。私はNHKでドラマ番組の
ディレクターをしています。八高時代は柔道
部で男臭い青春を過ごしながら、お小遣いの
大半を映画やビデオ鑑賞につき込む映画オタク
でもありました。いま思えば、自分が映像
の仕事をするようになったのは、ごく自然な
ことだった気もしています。ディレクターを
志したのは、熊大時代にマスコミ研究ゼミに
所属し、マスコミ数社を受験する就職活動の
なかで、NHKの就職セミナーに参加したの
がきっかけでした。講師の一人が、紀行番組
の名作「シルクロード」のディレクターで、
「この仕事は未知の世界に行くことができます
」という言葉に魅力を感じたからです。受



「真田丸」の演出中の田中さん

を経て、40歳ぐらいから演出を担当。
朝ドラ、大河ドラマをはじめ、様々
なドラマを手掛けてきました。

2014年に演出した土曜ドラマ
「足尾から来た女」は、足尾鉬毒事
件で廃村になった村を題材にしたド
ラマでした。東日本大震災後に起き
た原発事故で、多くの方が住み慣れ
た土地を離れることを余儀なくされ
た状況に重ねて制作しました。悲し
い状況のなかで、人はどう生き抜く
か、かねてより描きたかったテーマでした。
主演の尾野真千子さんの怪演もあり、文化庁
芸術祭優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞
をはじめ多数の賞を頂きました。演出として
も、自分のスタイルが確立できた作品でし
た。

その後、SNS時代が本格化し、ダイレク
トに視聴者の反応を

見ながら、ドラマ作
りができるようにな
りました。その時代
のなかで、2016
年大河ドラマ「真田
丸」、2017年連
続テレビ小説「ひよ
っこ」、2019年
連続テレビ小説「な
つぞら」と話題作を
連続して演出できた



のは、楽しい経験でした。ドラマが現在の社
会とシンクロするテーマを描くことの重要さ
を、より強く感じる事ができました。

今年の3月に大阪局へ異動し、名古屋局と



共同制作で終戦ドラマ「しかたなかったと言
うてはいかんのです」を演出しました。この
ドラマが描く「命の重さ」を、現在のコロナ
禍の状況に重ねて見る視聴者が予想以上に多
く、手応えと同時に驚きも感じています。

テレビの世界に入ってしばらくしてハイビ
ジョン、近年は4Kと映像は綺麗になり、制
作現場は増々複雑化しておりますが、今後も
等身大の人間の強さや弱さ、心を描きたいと
思っています。願わくば、見てくださる方
が、現在の自分と重ね合わせて、何かを感じ
取って頂けるテーマを選んでいきたいと思っ
ています。まずは、せっかく大阪局にいるの
で、九州と大阪を舞台にした朝ドラを手掛け
たいと考えております。朝からお茶の間に笑
顔を届けることも、ドラマの重要な役割だと思
いますので。八高の卒業生、在校生の皆さん、
是非見てくださいー！

【プロフィール】

八代市立第二中学校出身。熊大法学部卒。
NHK入社。現在 二人の娘さん、奥さん
と4人家族

母校だより



令和3年（2021年）8月

昨年度末から今年の夏休みまでの学校の様子や生徒の活動について報告したいと思います。

3月、高校第73回、中学第10回卒業証書授与式が卒業生と保護者、教職員の参加により行われ、卒業生たちが母校の思い出と未来への期待を胸に新たなステージへと立ちました。

コロナ禍に加え、大学入試制度改革初年度でこれまでにない対応を迫られる中、生徒たちは夢の実現を目指し、自らの可能性に挑戦しました。東京大学に現役で3人合格、京都大学に特色入試により合格など、本校初となる結果を収めています。入試結果の概況は次表のとおりです。

| | 現役 | 既卒 | 計 |
|---------|-----|----|-----|
| 国立・公立大学 | 83 | 12 | 95 |
| 私立大学 | 293 | 34 | 327 |
| 短期大学 | 2 | 0 | 2 |
| 専門学校 | 26 | 0 | 26 |
| 海外大学 | 3 | 0 | 3 |
| 就職・公務員 | 5 | 5 | 10 |

4月8日、新入生を迎え、高校718人、中学校240人で新学期がスタートしました。新型コロナウイルスの影響が長引く中、今年度は、

感染防止対策や内容・方法を工夫して行事等も実施したいと考え、中学校では、



運動部活動では、県の高校総体が2年ぶりに開催されました。各部昨年できなかった思いも込めて全力で競技に臨み、無観客の中精一杯頑張りました。陸上女子800mで1年大場さんが優勝の快挙、また、女子バレーボール部、卓球女子団体はそれぞれベスト8などの結果を収めました。水泳部は九州大会、陸上競技部は南九州大会及び全国インターハイへの出場を果たしています。

さらに、こちらも2年ぶりとなった夏の高校野球県大会で準決勝に進出、堂々のベスト4入りを果たしました。相次ぐ劇的な展開、最後まであきらめない姿が、見る者に大きな感動を与えました。

【陸上競技部】

南九州大会

女子800m 大場（1年）2位

インターハイ出場

男子円盤投げ 山尾（3年）12位

【水泳部】

県高校総体

男子100m平泳ぎ 西村（2年）4位

女子100m背泳ぎ 牧（2年）6位

萩嶺（1年）5位

男子100mバタフライ

財木（1年）5位

女子400mリレー

（園田、松岡、萩嶺、牧）8位

男子200m平泳ぎ 西村（2年）6位

女子200m背泳ぎ 牧（2年）6位

萩嶺（1年）3位

男子200m個人メドレー

財木（1年）8位

男子400mメドレーリレー

（西村、財木、木下、富山）8位

女子400mメドレーリレー

（園田、松岡、萩嶺、牧）6位

以上九州大会出場

【野球部】

第103回全国高等学校野球選手権熊本大会

2回戦 八代7-0天草（7回コールド）

3回戦 八代2-1ルーテル（延長11回）

準決勝 八代8-4文徳

準決勝 八代1-13熊工（5回コールド）



中学校においても、八代中体連総合体育大会が開催され、生徒たちが11の競技に参加し、練習の成果を発揮しました。県大会に出場した生徒、さらに九州・全国に駒を進めた生徒もいます。出場者と主な結果は以下のとおりです。

中学校県大会

水泳女子100m背泳ぎ

鶴山（1年） 2位 **九州大会出場**

200m背泳ぎ 鶴山（1年） 6位

100m平泳ぎ 古藤（1年） 6位

松岡（3年）

200m平泳ぎ 古藤（1年） 5位

松岡（3年）

4x100mフリーリレー

4x100mメドレーリレー

男子50m自由形

松岡（2年） 4位

200m個人メドレー

松岡（2年） 3位

柔道女子40kg級

吉野（3年） 優勝

九州大会・全国大会出場

空手道男子個人型

吉野（3年） ベスト16

団体組手

吉野（3年）

野田（2年）

吉坂（2年）

剣道男子個人

松下（3年）

テニス男子個人

有蘭（2年）

文化部活動については、県の総文祭が縮小開催となるなど活動の場が限られる中ではありますが、日々の活動、各種大会・コンクール等への出場など精一杯の活動をしています。放送部は今年も県大会で上位入賞、全国大会にも出場しました。

【放送部】

第68回NHK全国高校放送コンテスト

熊本県大会

ラジオドキュメント部門 3位

全国大会出場

第45回全国高等学校総合文化祭

紀の国わかやま総文2021

ビデオメッセージ部門 出場

【合唱部】 中高合同

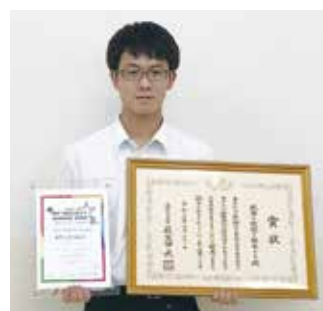
第76回九州合唱コンクール

熊本県予選大会 金賞

九州大会出場

文部科学大臣賞受賞

今年3月には、高校生が身の回りの課題を取り上げ解決に向けた取り組みを発表する「MY PROJECT AWARD 2020全国Summit」において、山口凌さん（現高3）のプロジェクト「戦争の記憶を継承する」が、全国4、905のプロジェクトの中から1位にあたる「文部科学大臣賞」と高校生の投票によって選ばれる「高校生特別賞」を受賞しました。



山口さんの発表は若い世代を含む多くの人々に感銘を与え、反響を呼んでいます。

インターシップ

した洋書ビブリオバトルなど、中高とも工夫を凝らし活動を展開しています。

7月末には、

昨年度は実施を見合わせたインターンシップを、39事業所のご協力により実施し、高校1・2年生119人が参加しました。職業の現場での貴重な体験の機会を得ることができました。



探究活動の充実

グローバル人材育成に関しても、地域で活躍する10人の講師をお招きしての選択講座「課題発見ライブラリー」、感染防止対策を講じての講演会、タブレット端末を活用



新型コロナウイルスの収束がいまだ見え、昨年に引き続き開催を断念した取組もありますが、生徒たちの豊かな学びに向けて今後も最善を尽くしていきたいと思っています。

同窓生の皆様方には、温かい見守りとお励ましをいただければ幸いです。



田中 優香 (高71回卒/中5回卒)

九州大学共創学部3年

私は高校生の頃、自治会活動、応援団、ラジオパーソナリティ、なにかと挑戦していました。自分の「わくわく」を大切に、これだと思ったらとにかく挑戦！良い意味で自分の身の丈をわかっていない人間です。

そんな私が大学生活でわくわくを感じ挑戦したことが、チア部と就活支援カフェ『知るカフェ』のインターンです。チア部への入部は、それまでずっとバスケをしてきた私にとって新たな挑戦でした。それでも、入学式でチアの演技を見て、自分が大事にしている「人に笑顔や元気を与えられる人でいたい」という想いを実現できると確信し、入部を決めました。今は幹部となってチームを引っ張りながら、12月の全国大会で目標達成するために必死で練習しています。『知るカフェ』の長期インターンでは、九州大学前店の店長を務めました。多くの九大生の未来の選択肢を広げられる仕事に幸せを感じています。10月からは、カフェで働くだけでなく、本社インターン生として、このカフェで働く全国の新人スタッフの研修や人材育成に貢献していく予定です。挑戦すれば、苦しさを感じる場面もあります。そんな中で、高校時代の友達は今でも私の支えであり、原動力です。楽しいことばかりでなく、苦しいことも乗り越えてきた仲間はやはり特別で、改めてみんなに感謝しています。



後輩の皆さんへ。コロナ禍で当たり前が覆され、思うような学生生活を送れていない人もいます。私もその1人です。そんな中でも自分の人生に責任を持ち、豊かにする選択をできるのは、「自分だけ」です。だから、こんな状況の中でも、「挑戦」を諦めないでほしい。今の自分にできるベストな選択を続けていって下さい。辛い時には、苦楽を共にした友達や友達と過ごした時間が、皆さんを支えてくれます。そして何より大切なのが、「自分の選択を正解にできるように行動すること」です。私は大学生になってこの重要性を切に感じました。無限にある選択肢の中で、自分の選択が正解か悩むことがあると思います。でも、それを自分で正解にしていけることができれば、今後の私たちの人生は必ず豊かになると思います。八高生が楽しい高校生活を送れることを祈っています！そして私も八高生としての誇りをもって活躍していけるように頑張ります！

後輩の皆さんへ。コロナ禍で当たり前が覆され、思うような学生生活を送れていない人もいます。私もその1人です。そんな中でも自分の人生に責任を持ち、豊かにする選択をできるのは、「自分だけ」です。だから、こんな状況の中でも、「挑戦」を諦めないでほしい。今の自分にできるベストな選択を続けていって下さい。辛い時には、苦楽を共にした友達や友達と過ごした時間が、皆さんを支えてくれます。そして何より大切なのが、「自分の選択を正解にできるように行動すること」です。私は大学生になってこの重要性を切に感じました。無限にある選択肢の中で、自分の選択が正解か悩むことがあると思います。でも、それを自分で正解にしていけることができれば、今後の私たちの人生は必ず豊かになると思います。八高生が楽しい高校生活を送れることを祈っています！そして私も八高生としての誇りをもって活躍していけるように頑張ります！



の研修や人材育成に貢献していく予定です。挑戦すれば、苦しさを感じる場面もあります。そんな中で、高校時代の友達は今でも私の支え

大学生紹介

田中 颯真 (高73回卒)

東京大学理I 1年



東大での勉強

“東京大学での講義”と聞くととてもハードなものであるように聞こえますが、まだ1年生の前半ということもあってキツさは他大学の理系学生と大差なかったと思います。決して楽だったとは思いませんが。必修の授業が大半だったので語学(英語とフランス語)や数学、物理で時間割はほとんど埋まっていました。基本的にZoomを用いたオンライン授業であり、キャンパスに行くのは週1回の体育の時だけだったので友人を作るのにも苦労しました。東京大学では1・2年生は最初全員が教養学部に入って文理の枠を越えて授業を取り、2年の夏学期が終わってから各々の志望する学部に進みます。そのため他分野の講義も気軽に受けることができ、実際前期で僕は経済の講義を取ったりしました。一方、英語で論文を書いたり、ゼミに参加したりするなど本来は専門に分かれてから取り組むものを体験できる授業もありました。



課題や試験勉強については、決してこなせない量ではないが多い、という印象です。数学や物理では教科書指定のない授業もあったので理解するのにかなり苦労しました。ただ東大では伝統的にクラスごとに試験対策の担当を設けているので、試験前はいろいろ助けていただきました。

学生生活

せっかく上京してきたのですが、授業はオンラインでサークル活動も制限されているのでほとんどを自宅で過ごしています。僕はバイトをしていませんが、周りを見た限りでは塾のチューターなどのバイトをしている人がやはり多いように感じました。大学生になってから生活の自由度は大きくなりましたが、自分でやらなければならないことも増えたので不自由さを感じることも多くなりました。漫然と過ごせばあっという間に終わってしまいそうなので、制約の多い中でもさまざまなことに取り組んで自分の糧にしていきたいと思っています。



井上すず華さん 奥村紗矢さん
木村愛子さん 富 若奈さん
平山 舞さん

八高生紹介

部 秀彦 くん



やつしろインターアクトクラブ 設立1周年

2020年7月に八代南ロータリークラブさんと八代高校・中学校PTAの協力のもと、やつしろインターアクトクラブが設立され、今年の7月に1周年を迎えました。

インターアクトクラブとは、12歳から18歳の中高生が、地域ボランティア活動や他のインターアクトクラブとの交流を通じ、視野を広げ国際感覚を養い、「超我的奉仕」を学び、行動力を身につけていくことを目的とするクラブです。クラブメンバーは中学一年生から高校三年生までの約90名です。

私たちは、月2回例会を開催して各種の活動内容を決定し、実施しています。

毎月第1日曜日の朝を「奉仕の日」として、学校や地域の清掃活動を行ったり、学校内で花の苗を育てて市内各所に花を植える「花いっぱいボランティア」を行ったりしています。

私たちの力で地域の皆さんの笑顔を増やしたいという思いで、学校や通学路、病院などを清掃したり花を植えたりしています。

また、コロナ禍でもできる国際交流として、地域国際交流活動を行っています。市内に住んでいる外国にルーツを持つ子どもやその親と交流し、お互いの理解を深めて仲良くなるという活動です。小学生と交流するに当たっての心構えなどのガイダンスを実施し、活動を開始しました。

さらに、保育園での保育士支援ボランティアも行っています。クラブメンバーでシフトを組んで保育園に行き、保育士の先生方のお手伝い、子どもたちとの交流をしています。最終的には園児にスポーツの楽しさを知ってもらうため、タグラグビーやタッチラグビーを教えるための準備もしています。

そのほかにも、例会では、私たちに何ができるのか、何が必要とされているかを考え、幅広い活動ができるよう工夫しています。

活動を通して、地域の方々に声をかけていただいたり、メンバー以外の生徒にもどんな活動をしているのかと興味を持ってもらえたりするようになってきました。

新型コロナウイルスの影響もあり、活動が制限されることもありますが、そんな中でも必要な活動を元気に実施していきたいと思っています。

この活動が学校と地域に定着して、八代高校・八代中学校の価値が高まり、地域に求められる学校になっていくようにみんなで頑張っていけますので応援よろしくお願いします。

Q1 野球をはじめられたのはいつからですか？

小学校1年生の時に野球のクラブチームに入りました。最初から野球が好きだったわけではありませんでしたが、続けていくうちに兄の影響もありすぐに野球が好きになりました。



Q2 文武両道の八高生活はいかがですか？

朝は早く、夜は次の日に向けての準備が大変です。部活動の時間が短かったので、家に帰ってからも練習をしていました。どうしても野球に時間を割いてしまったので勉強がおろそかになった時期も多かったです。文武両道ができる学校だと言われますが、その人の考え次第だなと感じました。



Q3 高校卒業後の進路はどのように考えていますか？

大学で野球をしながら教師になるための勉強もしたいと考えています。教師になることができれば生徒に野球を教えて高校で達成できなかった甲子園出場を目標に頑張りたいと思います。

Q4 将来やりたいことは何ですか？

教師になり、甲子園出場という目標に向けて、高校で助けてくださった方々に恩返しができるように頑張りたいと思います。やりたいことは特にないですが、これからの人生を楽しく過ごすことができればいいなとおもいます。



随想シリーズ

CTとの出会い（遺稿）

西村 謙一 高3回卒（昭和26年卒）

脳神経外科外来で診察していると、「先生、CTは撮らないで、良いですか」と、よく聞かれる。それほど今日では、CT（コンピュータ断層撮影）は、一般に広く知られている。私はCTでは、以下に述べるように生涯忘れ得ない経験をした。

私は八代高校を卒業して、九州大学医学部に進学した。同大学卒業後は九大病院で、外科・脳神経外科の教育を受けた（一時、大学院に在籍した）。1972年、九大医学部脳神経外科助手の時、英国ケンブリッジ大学教育病院に（写真①）留学が決定したがその年、岩手医科大学助教で赴任した



写真① ケンブリッジ大学キングズカレッジ



写真② 1974年当時の著者

ので、英国留学は、1974年となった。1974年の夏、ケンブリッジでの病院生活に慣れた頃（写真②）、ケンブリッジ大学脳神経懇話会で、マンチエスター病院のイシャールウッド教授のCTスキャンの講演があった。同教授は、世界に4台しかないうちの1台の

CTスキャンを使って臨床研究を続けておられた放射線専門医である。

その講演を聞いて、これは今世紀最大の診断機器の革命だと思った。それまで、頭をレントゲン線で撮影しても、頭蓋骨だけ撮影され、頭の中は全く撮影されない。造影剤を動脈に注入するか、脳室に空気を入れて、血管や脳室の変化で間接的に、脳腫瘍や脳出血を診断するのが主な方法であった。ところが、CTスキャンを用いれば、頭を開くことなく、そのまま脳腫瘍や脳出血を直接眼で見ることが出来る。この機械が普及すれば、これまでの脳神経外科は全く変わってしまうと感じた。教授の講演が終わって、私はこの装置を見せて頂きたいとお願いすると、教授は快く承諾された。こうして私のマンチエスター訪問が決まった。

1974年晩秋、私は、マンチエスターの駅に降り立った。マンチエスターは、英国の北西部の町である。雨が多いところで、私が訪問した日も雨が降っていた。病院にイシャールウッド教授を訪問すると、CT検査室に案内して頂いた。丁度、患者の撮影の始まる前であり、一人の患者が運ばれていた。教授は、私を患者の前に連れてゆき、「この人は、日本から来た脳神経外科医で、CT撮影を見たいと言っている。撮影場面を見せて、写真を撮影しても良いか。」と尋ねて、患者の許可をもらった。

初めて見るCT撮影装置である（写真③）。大きな四角い箱のような機械の中に、頭を入れて撮影する装置である。撮影が始まる前に、私が驚いて見ていると、「CTを操作して、撮影して見ませんか。」と教授の声が聞こえた。

私が操作室の中に入ると、ものすごく多くのスイッチが並んでいる。どうしていい



写真③ CT撮影を行なっている状態（1974年）

い。」と言ってくれた。私は彼女の指示通りに、沢山のボタンを押した。30分もかかずに、全部の画像が始めた。頭の中の脳腫瘍が明確に撮影されていた。「貴方がCTを操作した最初の日本人です。」と教授の声が聞こえた。この日は、1972年にCTの最初の人体撮影がロンドンで行われて、2年後（1974）の事だった。教授は、保管してあるこれまでのCTの写真を沢山見せてくれた。

その夜は、市内のホテルに泊まって、翌日、ロンドン行きの列車に乗った。汽車の中でも、まだ私の興奮が収まらなかった。好きなラガービールを飲みながら、私は興奮に酔っていた。いい気持ちしていると、そのうち、次第に暗雲が広がってきた。私は、最初の日本人として、誰もが出来ない経験をした。しかし、この経験を日本で、活かす機会は全く無いであろう。金持ちの米国さえ、この機械を持たないではないか…。

日本に帰ると、新聞記者が待ち受けていた。私のCTの経験を、脳神経外科に手紙で知らせていたからである。翌日、私の経験が、新聞の一面に大きく掲載された。当時の、大新聞には、どれも、「頭の外から内部を映し出す機械が英国で発明されたらしい」との、2、3行の記事しか掲載されていなかった。地方新聞が、大新聞が報じ

なかったスクープをしたわけである。担当記者は、間もなく米転した。

私の帰国後、2年くらい経ってから、田中角栄首相が、全国の大学脳神経外科にCTを設置することが決まった。私の列車の中で感じた悲観は杞憂になった。CTが当大学にも配布されたので、私と放射線技師長の二人は、他の仕事は一切しないで、CTの操作の訓練を1週間受けた。その後、CTは、後で発明されたMRI（格磁気共鳴装置）と共に、不可欠の診断機械になったのは、言うまでもない。

現在のCTの進歩は、目を見張るものがある。頭を入れる箱は丸型になって、ボタンを1回押すだけで全部の写真を2、3分で得る事が出来る。最初は撮影に30分もかっていた事が夢のようである。日本が世界第2位のCT保有国となったのも大きな驚きである。

※執筆していただいた西村様は令和3年1月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

川上正英先生の思い出

眞木 誠司 高18回（昭和41年卒）

この数年ずっと心にかかっているのが川上先生の生まれたお寺様を訪ねる事。名前も分からないのですと引き延ばしてきたけれど、今回は息子さんに電話をして教えていただく。「本渡から海沿いに富岡の方に向かって少し行き、佐伊津郵便局の所を左に入りこめば直ぐに分かります」との御指示。お寺の名前は「西法寺」。

川上正英先生は僕の八高二年と三年の時の担任。生徒自治会長をやるに違いないと目されていた僕の為に、わざわざ担任になっ



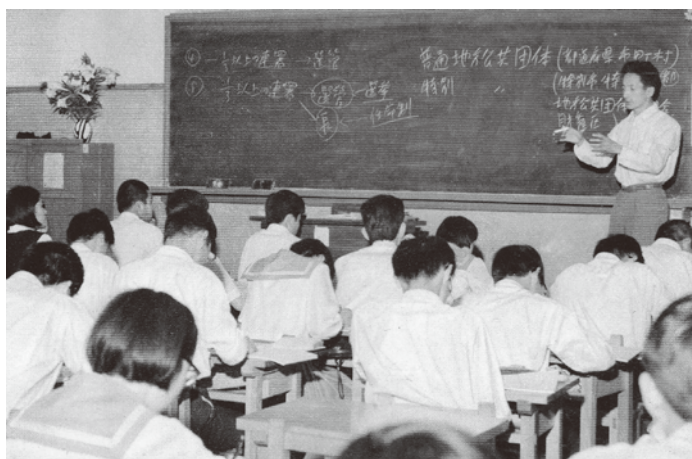
川上正英先生

て下さった。それというの先生が当時の生徒自治会の担当教師で「会長と担当教諭は同じクラスが良からう」とい

う学校側の配慮があつたものらしい。今ではそんな配慮はいかなものかと異論も出そうな気もするけれど当時はそんなものだった。だからクラス変えの当日、初対面の僕に向かって「君が真木君だね」と話しかけられ、驚いた。先生は写真で既に僕の事をチェックされていた。

高校の二年間僕は「生徒自治会の活動に没頭していた」と言つてよい。お陰で世の中の仕組みや大人の世界をずいぶん早く垣間見る事ができた。ある意味で一人の高校の政治家だった。八高新聞は現代のマスコミの代表みたいなもので、僕を中心とする自治会の活動に対し、批判と牽制の記事を書くのに忙しかった。予算を一万でも多く取ろうという各クラブの代表たちとの折衝や議会対策にも力をそがれた。「耕治人の暮らしが苦しうだから支援を」なんて葉書が自治会長宛てに来て支援に取り組もうとすると「誰がそんな事を言つた」と耕氏から抗議。投書の恐ろしさと危うさ、それに芸術家の気難しいのも知った。東京五輪の八高出身選手の壮行会も主催した。選手と握手くらいしても良かったのに一七歳の世間知らずの若者はそんな知恵も働かず、後でクラス仲間から笑われたりもした。戦後民主主義を僕のように現場で実践、体験した者も珍しかろう。その側には常に川上先生がいっしょだった。先生は九大の経済学部、向坂逸郎の教え子でいっしょだった。「世界史」と「倫理社会」を教えて下さ

た先生に言われた課題を今でも胸に抱いている。「河上肇の自伝を読みなさい。マルクスの資本論も。僕は一年かかって読んだよ。僕は河上の自伝も一部分、「資本論」も一巻の途中まで先に進んでいない。七三歳にもなつてまだ高校時代の先生の課題を果たせていない出来の悪い人間だが、青春の二年間先生のような人に傍で見守られた事は本当に幸せだった。親鸞の「善人なおもて往生を遂ぐ、況や悪人をや」の先生の講義は今でもまぶたに残っている。



授業風景

昭和三十九年、東京五輪の年に八高では大改革が行われた。一年になると文系・理系・就職の三つのグループに進路を分けてクラス編成をする事になり、その改革推進の中心は川上先生であった。当時、僕は「これは能力別編成で問題だ」と先生に直言した

が、先生は苦笑いしながら「しかし君、八高の進学実績はこうでもしなければどうにもならない所まで落ちて来ている。この策もやってみなけりや分らない」と弁明された。一七歳の若造の言い分にもちゃんと答えられた当時の先生の心中を今になつて思ひはかる。

先生は俳句を趣味にされ「背負ふもの我にもありて蝸牛」の句が僕の一番のお気に入り。この句に促され一編の随筆を書き、御挨拶に行つたのは最晩年に近かつた。米寿を越えられていた先生は腎臓がんを手術に五回以上のガンの手術をされ肺気腫も患われて酸素ボンベが欠かせなかつた。「出かけるとなると入れ歯に補聴器、老眼鏡に酸素吸入器、それに杖を捜さないといけない。その内ぼんやりしてきて家内から間に合わないとな怒られる」とユーモアまじりに嘆いておられた。叙勲を辞退された事や、若い頃、生まれ故郷の天草の「唐行きさん」の研究をし始めたものの、実際に当事者やその関係者も御存命で、その研究はお蔵入りになり、集められた資料は先年山崎朋子女史に送還され、彼女からていねいな礼状を貰つた事等話された。

「毎日一冊づつ本を読み続ける」事を義務付けられたこともある読書好きの先生の机の上にその時あつたのは宮沢りえのヌード集と岩波の八巻本の「日本経済史」講座だった。別れ際に「君ももう若くはない。体に気をつけろ。ぴんぴんころり、と言うけれどヨタヨタころりも悪くない。生き抜く事だ」と玄関口まで送つて下さった。

その先生も亡くなられて五年。先生の生家をやつと訪ねられる。佐伊津の簡易郵便局が見えてきた。左に入る道を折れると大きな高いお寺の屋根が見える。山門をくぐると左手に大きなクスノ木、右手にイチヨ

ウの木が迎えてくれる。これ等の木を先生も見られて大きくなられたに違いない。方形に近い境内は案外殺風景。ひっそりかと静まり返っている。右手奥に居宅が見えるので戸を開け来意を告げると若いお坊さんが出てきた。

「八代で高校の教師をなさつていた川上正英先生の御生地はどこですか?」「はい、そうですね」「私は先生の五〇年以上前の教え子でして。あなたは先生の甥御様になりますか?」「はい、私は正英の兄の子で、このお寺を継いでおります」「そうですね。先生にはいろいろお世話になり、いつか御生家をお訪ねしたいと思つていたのですがやつと叶いました」「玄関口でのやり取りだったが、部屋の後ろの方には立派な屏風も立つており一見して裕福そうなお寺様の感じ。実際そうでなければ先生の年齢で天草から福岡の九州大学まで出る事は経済的には困難事だったろう。故郷の天草の暮らしに慣れていた先生は福岡の暮らしとの差異に苦しまれたのではなかつたか。

佐伊津からは島原半島、口の津が海峡一つ隔てて見える。言わば「唐行きさん」の本場だ。それ故に先生も調べてみられる気になり、しかし一方で生々しい現実とも向きかねばならず、結局断念されたのだろう。幼い頃の先生はこの境内で遊ばれたのだろうか。広い境内は子供にとつては格好の遊び場だったに違いない。しかし先生のガキ大将姿はピンとこない。痩せて胃が弱かつた先生は矢張り本を読んで沈思される優等生ではなかつたろうか。海が近く風が強い境内を見回しお寺を後にする。ギリシア彫刻を彷彿とさせる先生の細面のお顔が「僕の原因を見たかい」とほほ笑んでいっしょる気がした。

令和2年度 八代高校同窓会会計決算書

1 収入の部 (単位:円)

| 費 目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 差異(A-B) | 摘 要 |
|-------|-----------|-----------|---------|-------------------------|
| 年 会 費 | 5,000,000 | 4,253,340 | 746,660 | 1,887人分(内訳下表)※申込手数料¥660 |
| 入 会 費 | 1,200,000 | 1,225,000 | -25,000 | 5,000×245名分 |
| 雑 収 入 | 200,000 | 256,857 | -56,857 | 名簿代、寄付(高30) |
| 合 計 | 6,400,000 | 5,735,197 | 664,803 | |

2 支出の部

| 費 目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 差異(A-B) | 摘 要 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------------|
| 会 議 費 | 30,000 | 2,083 | 27,917 | 会議諸経費 |
| 印 刷 費 | 20,000 | 0 | 20,000 | 総会案内状 |
| 役 務 費 | 550,000 | 217,042 | 332,958 | 郵便、通信費、HP管理費、申込手数料 |
| 広 報 費 | 4,000,000 | 3,307,043 | 692,957 | 会報発行費 |
| 備品消耗品費 | 50,000 | 13,846 | 36,154 | 用紙代、プリンターインク代 |
| 慶 弔 費 | 150,000 | 158,960 | -8,960 | 弔電代、広告料、教職員記念品代 |
| 人 件 費 | 800,000 | 800,000 | 0 | 事務局手当 |
| 新入会員歓迎費 | 400,000 | 352,800 | 47,200 | 校歌CD、卒業証書入れ丸筒代 |
| 旅 費 | 100,000 | 0 | 100,000 | 支部地区同窓会出席旅費 |
| 雑 費 | 300,000 | 38,237 | 261,763 | 法被クリーニング代、卒業アルバム代 |
| 地 区 補 助 費 | 260,000 | 260,000 | 0 | 支部・地区通信費への補助 |
| 合 計 | 6,660,000 | 5,150,011 | 1,509,989 | |

| | | | | |
|---------|------------|------------|----------|--|
| 前年度繰越金 | 16,901,313 | 16,901,313 | 0 | |
| 当年度収支差額 | -260,000 | 585,186 | -845,186 | |
| 次年度繰越金 | 16,641,313 | 17,486,499 | -845,186 | |

金銭管理状況

| | | | | |
|------|---------|------------|--|--|
| 普通預金 | 九州労働金庫 | 1,866,219 | | |
| 普通預金 | 肥後銀行 | 2,079,187 | | |
| 振替口座 | ゆうちょ銀行 | 2,670,934 | | |
| 定期預金 | 九州労働金庫 | 7,018,462 | | |
| 定期預金 | 熊本県信用組合 | 3,851,697 | | |
| | | 17,486,499 | | |

| 年会費振込金額 | 人数 | 総 金 額 |
|----------|--------|------------|
| 2,000円 | 1,838人 | 3,676,000円 |
| 4,000円以上 | 49人 | 578,000円 |
| 合 計 | 1,887人 | 4,254,000円 |

令和3年度 八代高校同窓会会計予算書

1 収入の部 (単位:円)

| 費 目 | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | 差異(A-B) | 摘 要 |
|-------|-----------|-----------|---------|---------------|
| 年 会 費 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 | 2,000円×2,500人 |
| 入 会 費 | 1,210,000 | 1,200,000 | 10,000 | 5,000円×242名分 |
| 雑 収 入 | 200,000 | 200,000 | 0 | 名簿代、寄付、預金利息等 |
| 合 計 | 6,410,000 | 6,400,000 | 10,000 | |

2 支出の部

| 費 目 | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | 差異(A-B) | 摘 要 |
|-----------|-----------|-----------|----------|--------------------|
| 会 議 費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 会議諸経費 |
| 印 刷 費 | 20,000 | 20,000 | 0 | 封筒印刷等 |
| 役 務 費 | 550,000 | 550,000 | 0 | 郵便、通信費、HP管理費、申込手数料 |
| 広 報 費 | 3,500,000 | 4,000,000 | -500,000 | 会報発行費 |
| 備品消耗品費 | 50,000 | 50,000 | 0 | 用紙代、プリンターインク代 |
| 慶 弔 費 | 150,000 | 150,000 | 0 | 弔電代、広告料、教職員記念品代 |
| 人 件 費 | 800,000 | 800,000 | 0 | 事務局手当 |
| 新入会員歓迎費 | 400,000 | 400,000 | 0 | 校歌CD、卒業証書入れ丸筒代 |
| 旅 費 | 100,000 | 100,000 | 0 | 支部地区同窓会出席旅費 |
| 雑 費 | 300,000 | 300,000 | 0 | 飾馬補助等 |
| 地 区 補 助 費 | 260,000 | 260,000 | 0 | 支部・地区通信費への補助 |
| 合 計 | 6,160,000 | 6,660,000 | -500,000 | |

| | | | | |
|---------|------------|------------|-----------|--|
| 前年度繰越金 | 17,486,499 | 16,901,313 | 585,186 | |
| 当年度収支差額 | 250,000 | -260,000 | 510,000 | |
| 次年度繰越金 | 17,736,499 | 16,641,313 | 1,095,186 | |

◆ 各支部・地区同窓会連絡先 ◆

■八代高校関東地区同窓会

会長:勝井 梅子(高21回) 事務局長:後本 一幹(高21回)
事務局所在地 〒207-0013 東京都東大和市向原3-900-23 後本一幹税理士事務所内
TEL 042-563-9218 FAX 03-6369-3461
定例総会:毎年9月の土曜日 東京都内の会場で開催

■八代高校東海同窓会

会長:坂田 孝之(高18回) 事務局長:岩崎 健作(高23回)
事務局所在地 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24 ライオンズビル第2丸の内705
(御旅行プランサービス内)
TEL 052-204-1945 FAX 052-204-1943
定例総会:毎年4月の第3土曜日 名古屋市内の会場で開催

■八高関西同窓会

会長:大川 郁夫(高24回) 事務局長:新村 守(高49回)
事務局所在地 〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目9-3 アールビル本館7階
弁護士法人村上・新村法律事務所 新村 守(高49回) 方
TEL 06-6316-8364 FAX 06-6316-8368
定例総会:毎年6月の第1土曜日、大阪市内の会場で開催

■八代高校岡山同窓会

会長:久保田壽一(高18回) 事務局長:江村 清二(高20回)
事務局所在地 〒703-8262 岡山市中区福泊11-118 江村 清二(高20回) 方
TEL 086-276-8050

■八代高校広島県同窓会

会長:片山 茂光(高19回) 事務局長:村田 栄治(高28回)
事務局所在地 〒738-0036 廿日市市四季が丘4-6-14 村田 栄治(高28回) 方
TEL 0829-88-9211 (Fax兼用)

■八代高校山口県同窓会

会長:山下 鶴洋(高14回) 事務局長:中村 裕子(高21回)
事務局所在地 〒755-0151 宇部市西岐波村松402 中村 裕子(高21回) 方
TEL 0836-51-1046

■八代高校同窓会福岡支部

会長: 事務局長:磯部 和之(高23回)
事務局所在地 〒811-1346 福岡市南区老司2-23-80 磯部 和之(高23回) 方
TEL 092-565-2232
定例総会:毎年、7月第1土曜日、博多祇園山笠にあわせて実施、福岡市内の会場で開催

■八代高校同窓会熊本市支部

会長:中西 雄一(高20回) 事務局長:坂田 雅孝(高24回)
事務局所在地 〒861-4172 熊本市南区御幸笹田4-11-5 坂田 雅孝(高24回) 方
TEL 096-379-0852
定例総会:隔年10月の土曜日、熊本市内の会場で開催

■八代高校大分同窓会

会長:草柳英一郎(高12回) 事務局長:松本 宏次(高15回)
事務局所在地 〒870-0848 大分市賀来北1丁目2-40 松本 宏次(高15回) 方
TEL 097-549-3386

■八代高校鹿児島県同窓会

会長:森岡 和之(高16回) 会長事務局兼任
事務局所在地 〒891-0102 鹿児島市星ヶ峯3-29-10 森岡和之(高16回) 方
TEL 099-265-6508

■八代高校長崎地区同窓会

事務局:徳永 哲郎(高27回)
事務局所在地 〒852-8126 長崎市石神町39-41 徳永 哲郎(高27回) 方
TEL 095-844-6106

個人情報の取り扱いと保護について

(八代高等学校同窓会個人情報保護基本方針)

1. 八代高等学校同窓会における個人情報の定義

個人情報とは、個人を識別できる情報で、氏名、住所、電話番号、勤務先・在学校名、勤務先電話番号、最終学歴等の情報を指します。
また、これらの情報のみでは識別できなくとも、複数の情報を組み合わせることにより個人を識別できる情報も含まれます。

2. 個人情報をご提供いただく場合について

- 八代高等学校同窓会で個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。
- (1) 同窓会事務局から同窓会会員へ直接依頼する場合
 - (2) 同窓生や家族から同窓会事務局に間接的にご連絡いただく場合
 - (3) 同窓会会員から同窓会事務局に直接ご連絡いただく場合

3. 個人情報の管理について

八代高等学校同窓会では、個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏洩または再提供(「5. 第三者への情報提供について」に記載する場合を除きます)などの無いように、適切な管理を実施いたします。

4. 個人情報の利用目的について

ご提供いただいた情報は秘密扱いとし、同窓会会員の管理、および同窓会員名簿の発行を含む同窓会の運営に役立てる目的のみに使用します。

5. 第三者への情報提供について

八代高等学校同窓会では、ご本人の同意を得た場合以外は、同窓会会員以外の第三者に提供を行いません。
ただし、警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく手続きにおいて照会を受けた等法令に基づく場合や、会員の行為によって同窓会会則等に反し同窓会の権利や財産等を保護するため必要と認められる場合、および人の生命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合は除きます。

6. 個人情報管理責任者の配置について

個人情報を取り扱う責任者を置き、適切な管理を行います。

7. 法令等の遵守・個人情報保護方針の改定

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行います。

八代高等学校同窓会では、日本国における法令等の変更に合わせるため、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、個人情報保護方針を改定させていただくことがございますので、定期的に個人情報保護方針のご確認をしていただきますようお願いいたします。

平成24年8月25日
熊本県立八代高等学校同窓会

なお、可能な限り、適切かつ迅速な処理を努めますので、個人情報に関する開示の申し出、苦情、相談等は事務局までご連絡ください。

八代高等学校同窓会事務局 (八代高等学校内)

TEL0965-33-4138 FAX0965-35-8463

(直通) 080-2743-9712

連絡用メールアドレス 85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

寄付のお礼

- ① 昨年「コロナ禍、豪雨に負けない八高生を支援するための寄付金」をお願いしましたところ、51名の方から353,000円の寄付がありました。貴重な浄財ですので母校の生徒たちのために使わせていただきます。ありがとうございました。
- ② 高41回生から81,850円の寄付をいただきました。有意義に使わせていただきます。ありがとうございました。

「令和4年度 八代中学・八代高女・八代高校同窓会総会」

期 日 令和4年 8月27日(土)
会 場 八代ホワイトパレス

担当は高39回生です。コロナ禍で2年間同窓会総会も実施できておりませんが、来年度は様子を見ながら、できるだけ実施の方向で考えております。

会費納入のお願い

日頃より同窓会活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

ご承知のように、同窓会活動として在校生に対する教育助成や会報発行、事務局運営等を行っておりますが、これらは皆様からの会費を主な財源としております。

同窓会のさらなる発展のためにも会費の納入をよろしくお願いいたします。

なお、払込用紙を紛失された方は郵便局に備え付けの払込用紙を使って払い込みができます。その際は払込手数料はご負担願います。

口座番号 01780-7=52031
加入者名 八代高校同窓会

【住所変更時の連絡のお願い】

住所を変更されましたら、事務局までご連絡下さい。

連絡先 〒866-0885 熊本県八代市永碇町856
熊本県立八代高等学校同窓会
TEL 0965-33-4138 FAX 0965-35-8463
事務局直通 080-2743-9712

メールアドレス
85jimukyoku@hachiko-dosokai.com

同窓会ホームページからも住所変更の手続きができます。
ホームページアドレス
<http://www.hachiko-dosokai.com/index.htm>

一 親房 広報委員長 高28回卒

八高祭に命を懸け、テレビの青春学園ドラマを地で行く熱血生徒。映画が好きで、授業をサボり、弁当を持って映画館に通う。俳優を目指す、足の長さで断念。

岡村 洋文 高25回卒 「めざめ」

毎年の運動会マスコット描きの楽しさにめざめ、深夜放送で世界の音楽にめざめ、映画の魅力にめざめ、勉学には眠ったまま！の3年間でした。

作田 典子 高28回卒

「われら青春！」のような青春ドラマのヒロインに憧れながら、ひたすら自転車で通っていました。

米本 直美 高30回卒

勉強も部活もせずボーっと過ごした2年半。受験に向けそれなりに頑張った半年。恩師や友と思いでたっぷりの3年間。楽しかったな！！

江崎 博美 高36回卒

数学が大嫌い、現国大好き。吹奏楽に明け暮れ、夏はアイスジョアに目が無く、いつも友達と笑い転がっていました。

内野 裕子 高45回卒

朝夕課外には参加せず、ひたすら美術室で絵を描くという自由奔放な八高生活を送り、今に至ります。

編集後記

「八高時代の自分は・・・」

松永 正大 高46回卒

水泳、日焼け、腹筋、ブーメランパンツ。たまに勉強。いやあ、健康的青春でした。

成尾 善明 高49回卒

ずっと好きな女子がいたのですが、最後まで言えませんでした。この場を借りて・・・。

柴崎 政俊 高52回卒

勉強と部活で充実していて硬派を演じていたが、本当は女子と仲良くしたい自分を欺いていた日々

高見 聡一郎 高55回卒

恋に恋焦がれ恋に泣く心から Ah 愛しい oh Teenage Memories (GLAY グロリアスより)

早田 蛭 高57回卒

よく寝た3年間でした！友達もたくさんでき、部活と遊びをととても楽しめました。

桑原 温乃 高69回卒

私の高校生活は、先生と今でも仲の良い友人たちに支えられた時間だったと思います。今でも大事な人たちで、必ず恩返ししたいです！

写真でたどる八高史

「目で見える百年の歩み」より①



八高の始まり（明治29年）
済々黌八代分黌仮校舎（光徳寺）

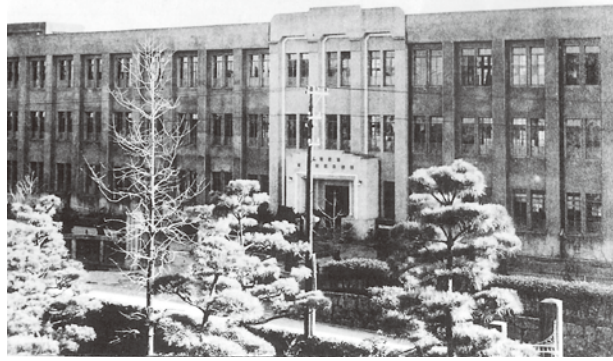


明治35年 県立八代中学校
第1回卒業生（37名）



大正時代の校舎と講堂（左）

昭和4年 新校舎落成（本館正面）



昭和初期の相撲部練習風景
（本格的な相撲場があった）



昭和10年 園芸部（軍事一色の中でほっとする）



昭和初期 市内を望む
（球磨川に帆掛け船が見える）



昭和11年 臨海学校

昭和14年 農場での集団作業



昭和14年 運動会



創立 125 年

Since 1896